

戸田市ウォークアブル推進業務 社会実験実施報告

令和7年2月4日
戸田市 都市計画課

項目

ページ

1 . 実施概要

2

2 . 実施結果

7

3 . 検証・考察

15

4 . 資料編

18

1 . 实施概要

実施概要

目的

社会実験の3つの目的

空間の使いこなし

従来のハード整備先行型の公共事業ではなく、まちづくりラボ準備会や地域住民と共に「どのような空間ならより楽しめるか？より使いやすいか？」を考え、実行・検証することで、居心地のよい空間整備へとつなげていきます。

まちで活動する仲間づくり

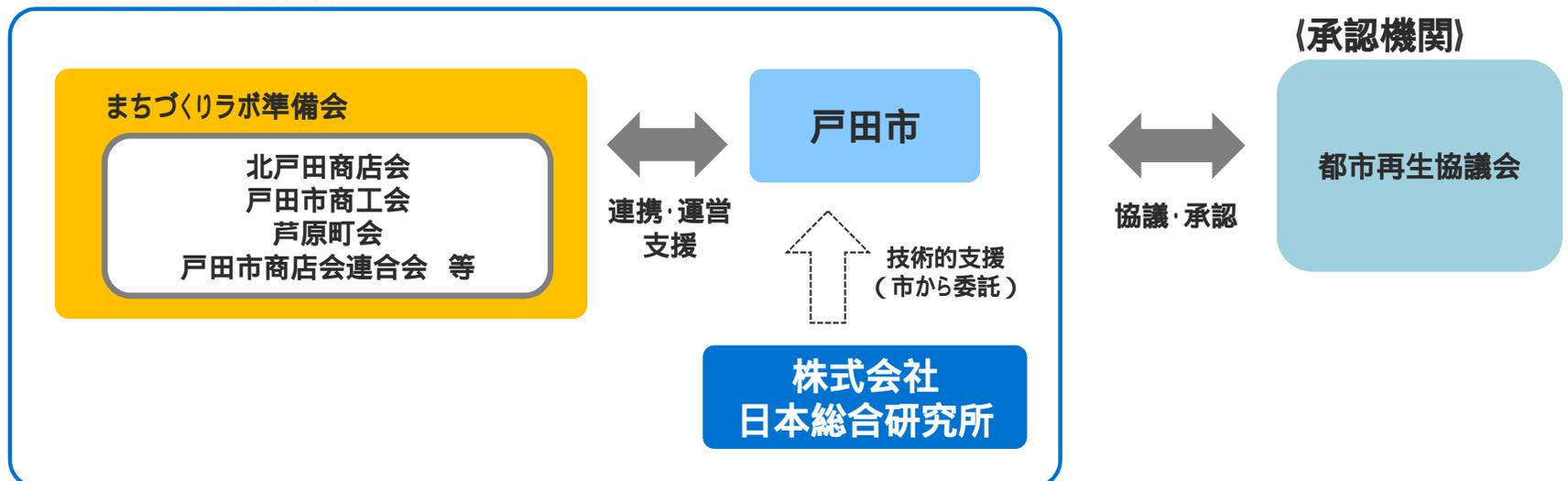
地域の方々のネットワークを活かし、ウォークブルなまちづくりに賛同し、ともに活動できる仲間を集めます。

取り組みを知ってもらう

イベント形式で公共空間を活用することによって地域の方々にウォークブル事業の取組を知っていただきます。

実施体制

〈社会実験実施体制〉



実施概要

- 北戸田駅周辺をウォーカブルな空間とする「将来ビジョン(案)」を実現するために公共空間の活用を試行するものです。

道路を滞在型の空間として活用したい



笹目川プロムナード

- ・ステージ
- ・ワークショップ、キッチンカー

・笹目川プロムナード沿いの柵にアート展示



・駅舎へのアート展示

プロムナードとの連携企画によって回遊性がうまれるか

公共交通機関（JR）との連携



ボール公園

- ・ドッジボール
- ・フリースロー対決
- ・モルック大会
- ・小さい子供向けの遊び場提供



笹目川プロムナード柵 (アート展示)

笹目川プロムナード ボール公園
アート展示、クイズラリー
(エリア間の往来を促す)



概要	
タイトル	北戸田駅周辺ウォーカブル社会実験「キタダまちなかチャレンジ」
場所	笹目川プロムナード、ボール公園、北戸田駅前
日付	11月23日(土)
時間	10時～15時
コンテンツ	<p>活動のデザイン@ボール公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール大会・親子でもらいドッジボール ・フリースロー・モルック体験 ・幼児向けボール体験 <p>活動のデザイン@笹目川プロムナード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ ・キッチンカー ・マルシェ&ワークショップ <p>つながりのデザイン@全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかアート展示 (北戸田駅前、笹目川の橋のスペースを使って、北戸田駅周辺の幼稚園・保育園の絵画等を展示) ・ウワサの北戸田クイズラリー ・絵馬に願う北戸田

実施概要

令和6年度社会実験の3つの目的

効果検証
(アンケート)

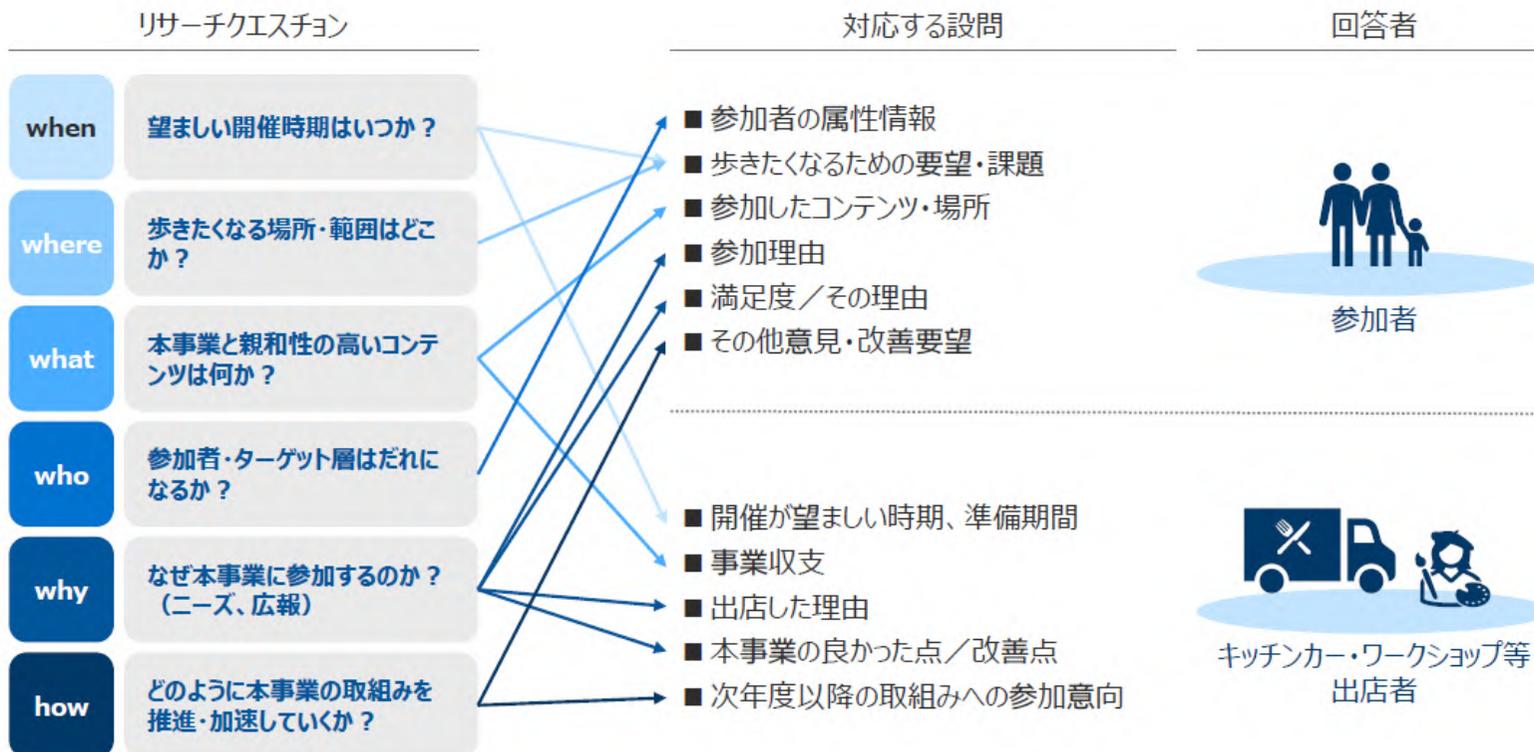
空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらおう

アンケート調査＜参加者・出店者＞

次年度以降の取組みにおけるにぎわい創出のためのヒント、参加者目線での改善点、出店者の出店内容と本企画との相性等を発見することを目的とする。この調査により、ウォークブルに資する魅力的なコンテンツを把握するとともに、北戸田駅周辺の空間に何が求められているかなどもあわせて情報収集する。



その他にぎわいを測る指標

- その他アンケート調査以外に、カウンターでの計測とモバイル空間統計による平常時とイベント開催時の人数変化を見て当日の集客数を把握します。

実施概要

効果検証 (アンケート)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらう

アンケート調査<まちづくりラボ準備会>

- まちづくりラボ準備会メンバー向けに実施し、社会実験を実現するうえで必要な検討事項・手続きや課題等を振り返ってもらう。
- アンケート結果は、今後、官民連携による主体的な活動を行っていくために必要な体制・ルール等の検討に活かす。

効果検証 (イベント収支)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらう

	内容	金額(予算)	金額(決算)
収入	プロムナード班出店料・出演料の見込み額	78,000円	?円
支出	備品購入費・資材レンタル費	約543,000円	?円
	チラシ・ポスター印刷費		
	準備会昼食代等		
	イベント保険料		
収支	収入-支出 差額はウォークアブル推進業務委託支援費用にて対応	-465,000円	?円

効果検証 (運営チームの役割)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらう

運営チームの役割検討

- 運営チームに必要な役割について検討する。
例) チームの役割分担: リーダー/会計/広報/協力員 など
- 例) イベント敷地の使用許可手続き など

2 . 実施結果

実施場所

- 当日は笹目川プロムナードでの強風のためテント設営のみ中止し、企画通り実施した。
- 多くの来場者が訪れ、特に親子連れが多く見られた。大きなトラブルはなく、ポイ捨て等のマナー違反も非常に少なかった。

楽しんで滞在できる道路空間となった

北戸田駅前

・駅舎へのアート展示 (4園)

楽しんで滞在できる道路空間となった

大字下笹目
谷口
尻橋

北戸田駅
北戸田駅前交番
北戸田駅南線
埼京線

・ステージ 8グループ
・ワークショップ 16店舗
・キッチンカー 8店舗

駅前空間のアートを見ながら歩いた

ボール公園

プロムナードと公園を行き来して過ごした

笹目川プロムナード柵 (アート展示)

笹目川プロムナード ボール公園
アート展示 (12園)、クイズラリー
(333名)

戸田市
北部橋

大字新曾
芦原小学校

いつもと違う公園遊びができた

・ドッジボール (78名)
・フリースロー対決 (21名)
・モルック大会 (122名)
・小さい子供向けのボール遊び (21名)

実施結果の整理

アンケート調査結果 < 参加者・出店者 >

	リサーチクエスチョン	参加者向け調査結果	出店者・出展者向け調査結果
when	望ましい開催時期はいつか？	春や秋など屋外でも過ごしやすい時期の開催が求められていた	イベントに参加・準備しやすい気候や参加者が多く参加することが見込めることから、春や秋の屋外でも暖かく過ごせる時期、「朝（10時ごろ）～夕方（16時ごろ）」の開催が望ましい。
where	歩きたくなる場所・範囲はどこか？	子どもの遊び場やイベントの開催などの魅力的なコンテンツのある空間及び安全な歩行空間	
what	本事業と親和性の高いコンテンツは何か？	（本事業との親和性を直接的に示すものではないが）今回の社会実験ではキッチンカーやクイズラリーが人気だった	キッチンカーに関しては収支が一定程度見込めるものの、ワークショップやテント販売については集客力にばらつきがあった。その一因として、場所（住宅街から離れている）や人流誘導や案内が不十分であった可能性がある。
who	参加者はだれになるか？	（本社会実験が親子向けの内容ではあったが）今回の社会実験では子育て世帯や周辺住民が多く来場した	
why	なぜ本事業に参加するのか？（ニーズ、広報）	社会実験の内容が魅力的で、市の取り組みへの関心や協力意識があるから	出店・協力動機には、知人からの声掛けをきっかけとして出店していることもあり、収支上の判断が第一ではなく、市の取り組みへの協力意識が最も影響している。
how	どのように本事業の取組みを推進・加速していくか？		協力に前向きな出店・出展者が多い。条件として過ごしやすい暖かな気候・開催時期を挙げている回答者もいる。開催時期は事前に決定のうえ、3カ月程度前から告知し準備、調整を進めることが望ましい。

実施結果

効果検証 (アンケート)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらおう

実施期間：2024/11/23（土）～2024/12/1（日）（googleフォーム・紙回答 紙は11/23のみ）

回答者数：参加者（82人）（アンケート集計結果一覧 P22～P38参照）

参加者アンケート結果のポイント

参加者の属性

回答者の約80%が戸田市内在住で、特に新曽地区や美女木地区など会場近隣からの参加が多く見られました。9割以上が複数人での参加で、そのうち82.9%が親子連れでした。年齢層は30～40代が約70%を占めており、若い家族の参加が目立ちました。

満足度と人気コンテンツ

全体満足度は非常に高く、8割以上の参加者が「満足」または「やや満足」と回答しました。特に人気だったのは、キッチンカー（64.5%）、クイズラリー（48.7%）、ワークショップ（48.7%）でした。一方で、イベントの目的や内容が分かりづらいという指摘もあり、改善の余地が見られました。

開催時期と時間帯の希望

参加者からは、春や秋（3月～5月、10月～11月）の屋外でも快適な時期での開催が望まれています。時間帯としては10時～16時が最適とされ、特に夕方以降は参加者数が減少する傾向が見られました。



実施結果

効果検証 (アンケート)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらう

参加者アンケート結果のポイント

歩きたくなる空間の要素

- 1 子どもの遊び場
安全で楽しい遊び場の提供
- 2 魅力的な店舗が並ぶ空間
多様な店舗による賑わい創出
- 3 安全な歩行空間
車両と分離された歩行者優先の道路

参加者が歩きたくなる空間の要素として、上記の3点が重要視されていることが分かりました。

参加理由

参加理由としては、社会実験の内容への興味（35%）、市の取り組みへの協力意欲（35%）、市の取り組みへの関心（30%）が上位を占めました。自由記述では「地域での新たな取り組みへの期待」や「家族で楽しめる内容の魅力」が挙げられ、地域住民の積極的な姿勢が伺えます。

広報の効果については、知人からの紹介（27.1%）が最も高く、次いで市広報誌、掲示ポスター、配布チラシ（各20%以上）でした。一方で、イベント内容のさらなる事前宣伝や他イベントとの差別化が課題として浮かび上がりました。



にぎわい

来場者数 約3,023人

プロムナード2,777人、ボール公園246人（現地にて1時間に1回、来場者数をカウントした総数）

モバイル空間統計による参加者の推計は、社会実験に来場したスマートフォンを持たない層の推計が困難であり、カウント来場者数との乖離もあったため、採用していない。

実施結果

効果検証 (アンケート)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらおう

実施期間：2024/11/23（土）～2024/12/1（日）（googleフォーム回答）

回答者数：出店者・出展者（25団体）（アンケート集計結果一覧 P39～P52参照）

出店者・出展者アンケート結果のポイント

参加理由と収支状況

出店者の60%が市の取り組みへの協力を理由に挙げ、地域活性化への貢献意欲も高かった。収支状況はキッチンカーが好調だった一方、ワークショップや物販には収益のばらつきが見られた。

望ましい条件

開催時期は春または秋（3月～5月、10月～11月）が希望され、3か月以上の事前告知期間が好ましいとの意見があった。また、電源設備や日陰、明確な案内表示など、具体的な設備要望も多く挙げられた。

次回への参加意欲

96%の出店者が次回以降の参加に意欲を示し、地域への愛着やイベントの魅力、新たな集客機会への期待が主な理由として挙げられた。



実施結果

効果検証 (アンケート)

空間の
使いになし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらう

実施期間：2024/11/23（土）～2024/12/20（金）（googleフォーム回答）

回答者数：まちづくりラボ準備会メンバー（16人）（アンケート集計結果一覧 P53～P62参照）

まちづくりラボ準備会からの社会実験振り返り

良かったこと

この準備会に参加したことで市内の方々と交流でき、人とのつながりが持てたことや、実際に社会実験で普段とは違う街なかを創出出来ることが分かり良かったなどの声がありました。

課題

新規協力者の獲得不足、役割分担など運営上の問題、車両通行禁止の徹底と安全対策の強化が課題として指摘されました。これらは、今後のイベント運営の改善点となります。

改善案

ベビーカー・車椅子利用者向けの段差解消、食事や休憩スペースの充実などのインフラ整備が提案されました。また、アンケートの効率的な配布方法やオンラインミーティングでの事前調整など、運営面での改善案も出されました。



実施結果

効果検証
(イベント収支)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらう

収支結果

- 支出では市の資材提供で不足した資材レンタル費、備品購入費が多くを占めた。
- 当日の設営にあたっては別途市民の方に協力いただき、交通誘導は市職員により行った。
- 今後、まちづくりラボのより主体的な開催を想定した場合、**出店料等の収入増の方策について検討するほか、補助金、協賛金等による収入の確保についても検討する必要がある。**

	内容	当初予算	決算
収入	プロムナード班出店料・出演料の見込み額	78,000円	78,000円
	協賛・協力金	10,000円	10,000円
	収入計	88,000円	88,000円
支出	備品購入費	257,000円	232,627円
	資材レンタル費	180,000円	200,750円
	チラシ・ポスター印刷費	50,000円	49,000円
	準備会昼食代等	34,500円	34,750円
	謝礼（音響、司会、日本大学）	30,000円	47,500円
	イベント保険料	25,000円	25,000円
	支出計	576,500円	589,627円
収支	収入-支出 差額はウォークアブル推進業務委託支援費用 で対応	-488,500円	-501,627円

効果検証
(運営チームの役割)

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取り組みを
知ってもらう

運営チームの役割

- 各コンテンツ毎の中のとまとめ……各班のまとめ役
- 出店団体、協力者との細かい調整……外部協力者との調整役
- 出店・出演団体への出店料の声掛けや集金……会計
- チラシ・ポスターの公共施設などへの掲示の交渉、連絡……広報
- 公共空間の利用にあたり、以下のとおり許可申請等の手続きが必要だった。
…道路・公園・河川管理者 / 警察 / 保健所 / 消防 等

その他
(広報)

空間の
使いこなし

取り組みを
知ってもらう

媒体	概要
広報戸田市	・ 広報戸田市10月号に掲載
市ウェブサイト/SNS	・ 社会実験のプログラム掲載
チラシ・ポスター	・ 公共施設・学校・保育園・幼稚園への配布・掲示
マスコミ・マスメディア	・ 記者クラブへのプレスリリース ・ JCOMによる取材協力
その他	・ 地域情報誌掲載 / イオンでのデジタルサイネージ掲載

3 . 検証・考察

本社会実験で得られた成果・課題

- ワークショップで出されたアイデアを実現し、公共空間の活用を試行するまちづくりの第一歩となった。
- 社会実験3つの目的に対し、それぞれの成果・課題を取りまとめた。

目的	得られた成果	今後の課題
空間の使いになし	<ul style="list-style-type: none"> • キッチンカー、ワークショップ、ステージなど、親子連れが楽しめるコンテンツの評判の高さ • 参加者・出店者の北戸田駅周辺活性化への期待と市事業への関心の高さ • 今後の社会実験を実施する場合の望ましい時期・時間帯・ターゲットの把握 	<ul style="list-style-type: none"> • 安全な歩行空間の確保 • 子どもが安全で楽しく遊べる空間の提供 • 魅力的な店舗が並ぶ空間 • 出店者を支援する設備（トイレ、電源等）の検討 • イベントスペースのにぎわいをつなぐ仕組み
まちで活動する仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりラボ準備会の取組により、地域の方々に理解を得ながら、多様な方々に参画いただいたこと • 地域にゆかりのある出店者・出演者によるコンテンツの提供 • 社会実験実施の際に必要な資材・経費の把握 	<ul style="list-style-type: none"> • 継続的な取組みのための体制づくり • 多様な出店・出展による集客力向上 • 収益向上の支援（下記広報の取組と連動）
取組を知ってもらおう	<ul style="list-style-type: none"> • 広報等を通じて本事業及び社会実験について幅広くPRを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験の目的、ウォークアブル事業の主旨周知 • 地域住民以外の集客をターゲットにした広報、具体的な内容の事前周知 • 当日の周辺から社会実験実施エリアへの誘導強化

将来ビジョンへの示唆

「北戸田駅周辺まちなかウォークブル将来ビジョン」に掲げる「居心地がよく歩きたくなるまちなか」を実現する方向性を見出すため、アンケート調査などの検証結果から得られた内容を、活動などのソフト的取組みと、整備するハード的な取組みに整理しました。

にぎわいを生む取組みについて (活動などソフトの取組み)

- 今後も、スポーツ体験、子どもの遊び場、キッチンカーなどの魅力的なコンテンツが求められており、定期的なイベント開催が期待されている。
- 市の取組みに協力したいという意識が一定数あることを踏まえ、動機をさらに強化する広報や仕組みが必要。
- 地域主体での運営に向けた体制構築により、さらなる公共空間の活用が期待されている。

歩きたくなる・滞在したくなる空間について (整備などハードの取組み)

- 「滞在したい空間」に関する具体的な要望としてベンチや緑化が求められている。
- 安全面を重視し、夜間も安心して歩けるような「車両用道路と区別された歩行空間」が必要。特に子育て世帯にとって安全な環境整備が望まれている。
- 今回の社会実験で実施したプロムナードを楽しむためのストリートファニチャーの設置やイベントの提案が支持された。
- 親子連れをターゲットとした社会実験に多くの人々が来場したことから、空間整備の際の重要な視点となる。

まとめ

本社会実験は、北戸田駅周辺を歩きたくなるまちなかに向けた重要な一歩となりました。今後は、得られた知見を将来ビジョンの策定に活かし、より魅力的で持続可能なまちづくりを進めていくことが求められます。

まちづくりラボ準備会の開催

- 社会実験の実施までに7回開催し、段階を追って企画を具体化した。
- 第1回まちづくりラボ準備会の開催にあたっては、地域のキーパーソンとの第0回まちづくりラボ準備会を実施し、まちづくりラボ準備会の在り方や社会実験の実施方法や検討プロセスについての意見交換を行った。
- まちづくりラボ準備会の検討内容は都市再生協議会において協議・承認等をいただきながら推進した。

回次	開催日	実施内容	
		情報提供	ワーク等
第0回	5月27日	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりラボ準備会について • 社会実験の企画について 	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりラボ準備会・社会実験の運営方針についての意見交換
第1回	6月8日	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりラボ準備会について • 社会実験の企画について 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験企画の検討
第2回	6月29日	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験企画の決定 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験企画の具体化
第3回	7月13日	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験の企画書案について • 社会実験の実施体制について 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験企画の具体化
第1回都市再生協議会（8月6日）：社会実験実施の承認を得た			
第4回	8月24日	<ul style="list-style-type: none"> • イベントタイトルの決定 • 広報計画の共有 • 効果検証方法の共有 	<ul style="list-style-type: none"> • 各班の未検討事項の確認、役割分担 • 資材リスト（案）の作成
第5回	9月14日 （有志のみ）	<ul style="list-style-type: none"> • 資材リストの共有 • 資金の扱いについて 	<ul style="list-style-type: none"> • 進捗状況の確認 • モルック体験
第6回	10月12日	<ul style="list-style-type: none"> • 将来ビジョン（案）の進捗報告 • 収支計画、広報について 	<ul style="list-style-type: none"> • 進捗状況の確認
第2回都市再生協議会（10月29日）：社会実験の詳細内容のについて承認を得た			
第7回	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> • 実施計画最終確認 	<ul style="list-style-type: none"> • 当日の役割分担の確認
社会実験の実施（11月23日）			

資材の調達

- 社会実験に必要な資材は市からの貸出を基本とし、不足するものは購入・レンタルで対応した。

購入品	数量
ドッジボール	4
柔らかいボール	8
ホイッスル	6
ライン引き用ロープ	1
ビニールテープ留める杭(10本入り)	1
救急セット	1
競技用タイマー	2
ドッジボール大会優勝記念品 お菓子詰め合わせ	2
フリースロー大会優勝記念バスケットボールグッズ	2
大会参加者用ビブス(2色10枚ずつ)	20
単3電池(拡声器用個)12本入り	4
段ボール(1m*1m*1m):ゴミ箱	2
布(幅110cm前後(規定の幅)×長さ180cm)	19
紙絵馬×500	1
スズランテープ(白)	2
スタンプ	1
プラスチック段ボール(A3)乳白色	14
ハトメ(銀色、内径12mm前後)20組	7
防水スプレー	3
うまい棒(詰め合わせ)	500
ハトメパンチ	1

購入品	数量
ビニールテープ(ラップ)保護テープ(透明)	2
ラミネートフィルム(A3)	20
養生テープ(緑)5個入り	2
アルコール消毒液	3
テーブルクロス	5
ウエットティッシュ	5
台フキン(10枚入り)	1
腕章10入り	4
90リットルゴミ袋10枚入り	5
養生テープ(白)	8
トイレトペーパー(ダブル)	3
布ガムテープ	4
ナスタック超強力15mm×2m	4
油性ペン5本セット	1
はさみ	2
クイズラリー台紙(厚紙)B4白	300
結束バンド20cm白(100本入り)	1
スタンプ台(黒)	6
麻ひも	1
スタンプマット	5
ブルーシート	2

市からの貸出品	数量
カラーコーン(高さ70cm)	70
コーンバー(200cm)	70
ウエイト	60
バリケード	50
テント(ワンタッチ)(幅3間、奥行き2間)	7
テントおもり(布あり)(JRI追加)	1
テントおもり(JRI追加)	56
タープテント	2
折り畳みベンチ	5
椅子	174
机	41
看板(横28cm、高さ160cm)	10
拡声器	8
ワイヤレスマイク	2
発電機(大)	1
ドラムリール	2
誘導棒	28
人工芝(2m×10m)	4
アウトドアワゴン	1
ネームホルダー	65

レンタル品	数量
テント(出演者控え用)	1
テント用布	10
テント(ゆるキャラ着替え用)	1
テント用布(ゆるキャラ着替え用)	8
ステージ用ベンチ	35
小机(スタンプラリー用)	6
テントおもり	16
パイプ椅子	110
長机	9
音響設備	1

チラシ・ポスターの配布先

- チラシ・ポスターは、戸田市にて以下の掲示・配架先に設置した。

分類	施設名	枚数
公共施設	戸田市役所	6
	スポーツセンター	2
	彩湖自然学習センター（みどりパル）	2
	児童センタープリムローズ	2
	西部福祉センター	2
	笹目コミュニティセンター	2
	郷土博物館・図書館	2
保育園・幼稚園	まきば幼稚園	1
	戸田東第二幼稚園	1
	ささめ幼稚園	1
	戸田ひまわり幼稚園	1
	北戸田Jキッズステーション	1
	北戸田さくら保育園	1
	保育ルームスターキッズ北戸田	1
	太陽の子北戸田保育園	1
	太陽の子新曽北保育園	1
	太陽の子とだ笹目保育園	1
	笹目東保育園	1
	笹目川保育園	1
	あけほの保育園	1
	あけほの第2保育園	1
	戸田すこやか保育園	1
	戸田東第二幼稚園	1
	学校	小学校
中学校		3
高校		2
駅	北戸田駅	1
店舗 （ウォークアブル区域内を中心とする駅周辺）	各店舗 （現在事務局にて整理しています。）	30
予備	準備会メンバー個人での配布、追加配布要望があった場合など	124
		200

分類	施設名	枚数
公共施設	戸田市役所	50
	スポーツセンター	50
	彩湖自然学習センター（みどりパル）	50
	児童センタープリムローズ	50
	西部福祉センター	50
	笹目コミュニティセンター	50
	郷土博物館・図書館	50
	保育園・幼稚園	まきば幼稚園
戸田東第二幼稚園		20
ささめ幼稚園		20
戸田ひまわり幼稚園		20
北戸田Jキッズステーション		20
北戸田さくら保育園		20
保育ルームスターキッズ北戸田		20
太陽の子北戸田保育園		20
太陽の子新曽北保育園		20
太陽の子とだ笹目保育園		20
笹目東保育園		20
笹目川保育園		20
あけほの保育園		20
あけほの第2保育園		20
戸田すこやか保育園		20
戸田東第二幼稚園	20	
学校	小学校	
	中学校	
	高校	
町会回覧	各町会	1671
駅	北戸田駅	30
店舗 （ウォークアブル区域内を中心とする駅周辺）	各店舗 （現在事務局にて整理しています。周知したい店舗等がありましたら事務局までご連絡ください。）	300
予備	準備会メンバー個人での配布、追加配布要望があった場合など	329
		3000

アンケート集計結果一覧（参加者）

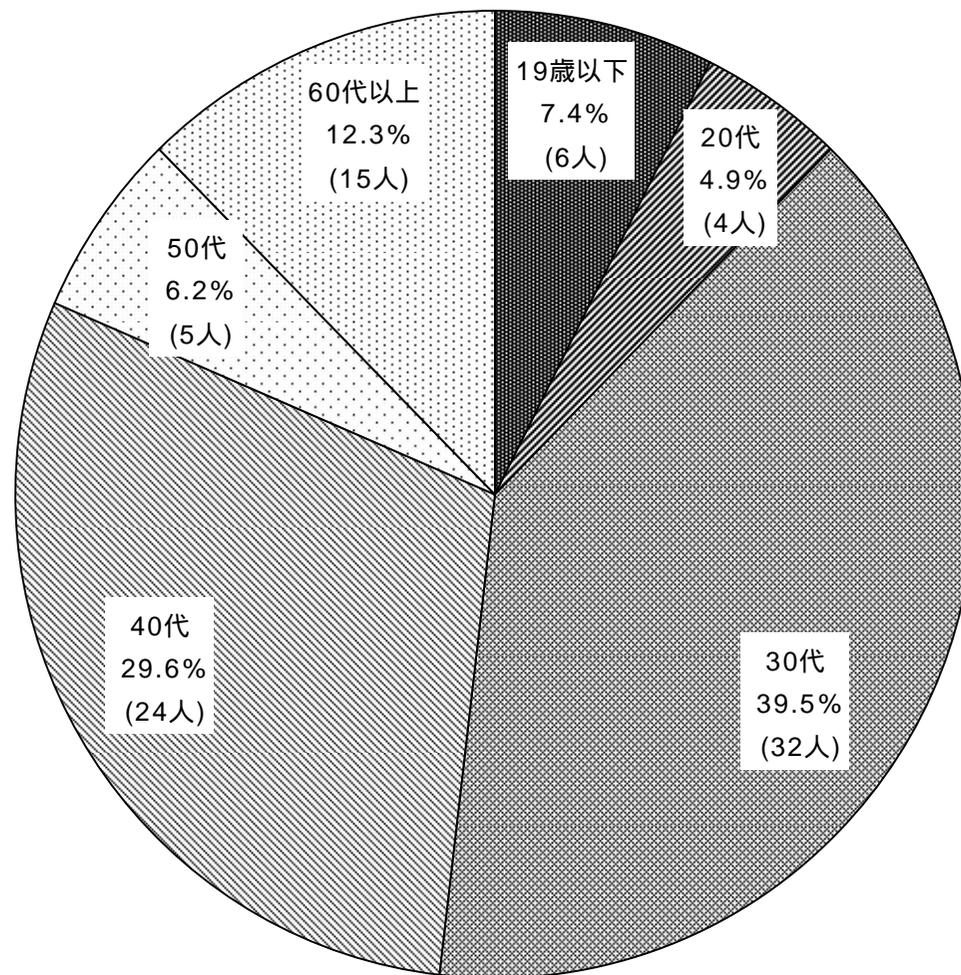
実施期間：2024/11/23（土）～2024/12/1（日）（googleフォーム・紙回答 紙は11/23のみ）

回答者数：参加者（82人）

調査結果 | 参加者の年齢 (Q1)

- 回答者の年齢層は、30代、40代が併せて7割弱を占めている。

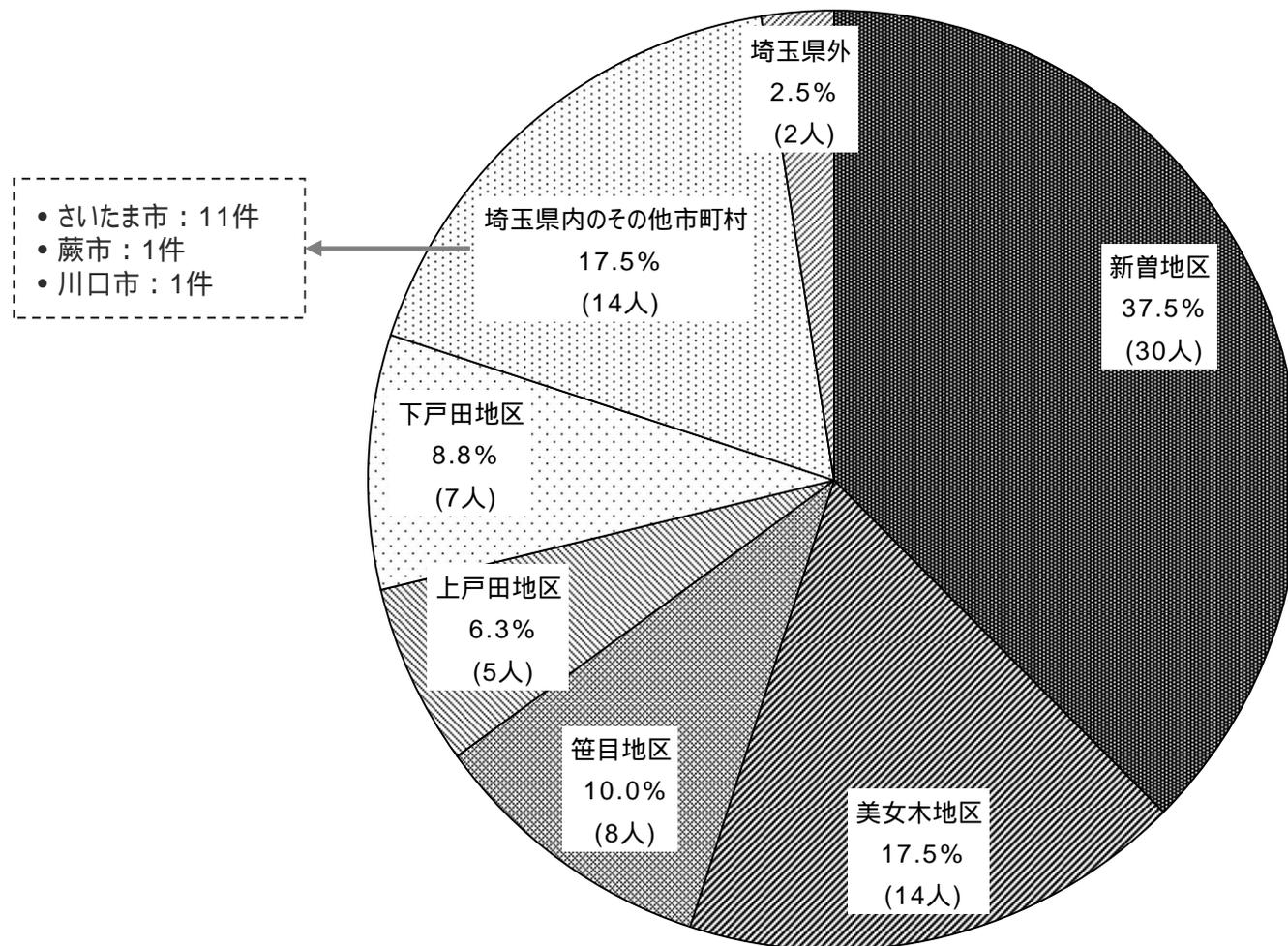
Q1 あなたの年齢をお答えください。
(n=81)



調査結果 | 参加者の居住地 (Q2)

- 回答者の居住地は、戸田市内が8割を占める。

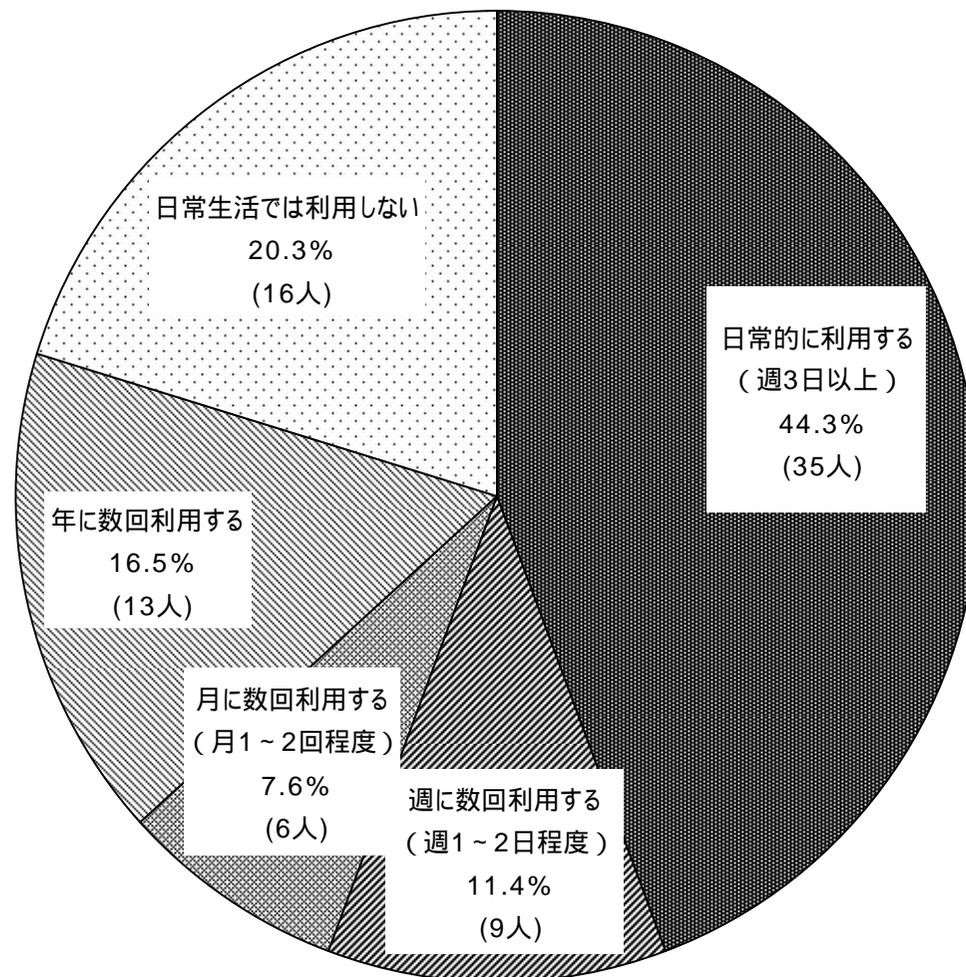
Q2 現在の居住地をお答えください。
(n=80)



調査結果 | 参加者の北戸田駅の利用頻度 (Q3)

- 北戸田駅を週に1回以上利用している方が半数以上である。
- 日常生活では北戸田駅を利用しない方が約2割を占めている。

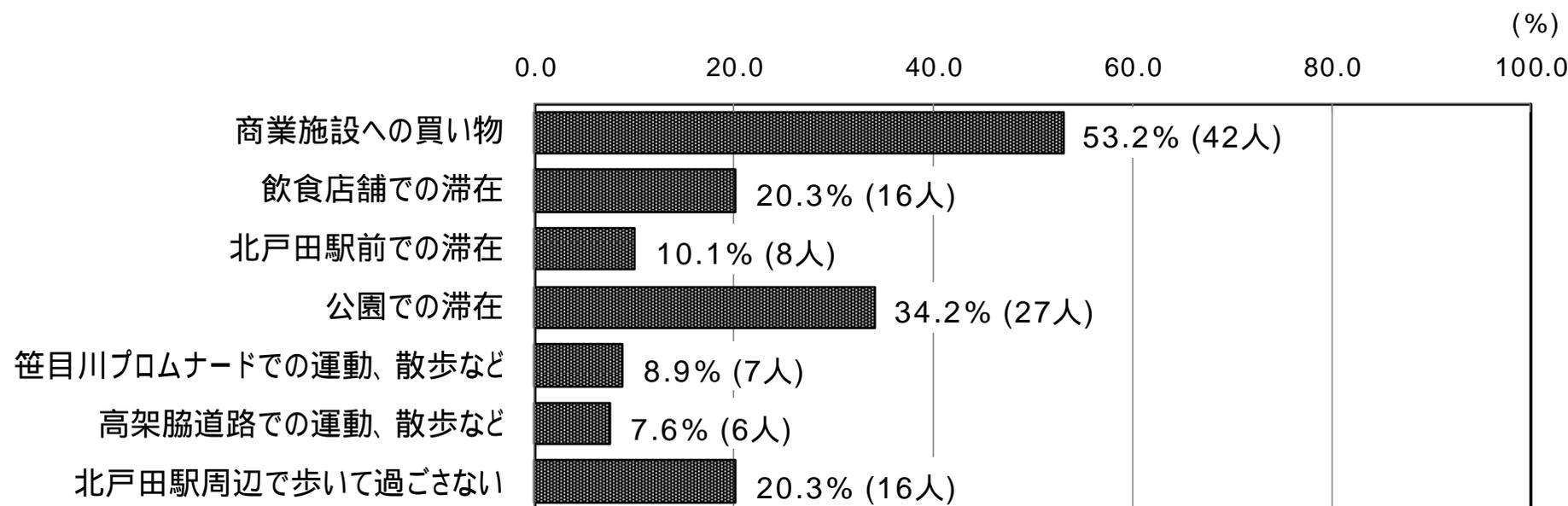
Q3 日常生活における北戸田駅の利用頻度をお答えください。
(n=79)



調査結果 | 北戸田駅周辺を歩く際の過ごし方 (Q4)

- 商業施設への買い物が半数以上、公園での滞在が約3分の1である。
- 北戸田駅前での滞在や笹目川プロムナード、高架脇道路での運動、散歩などはいずれも11%未満である。

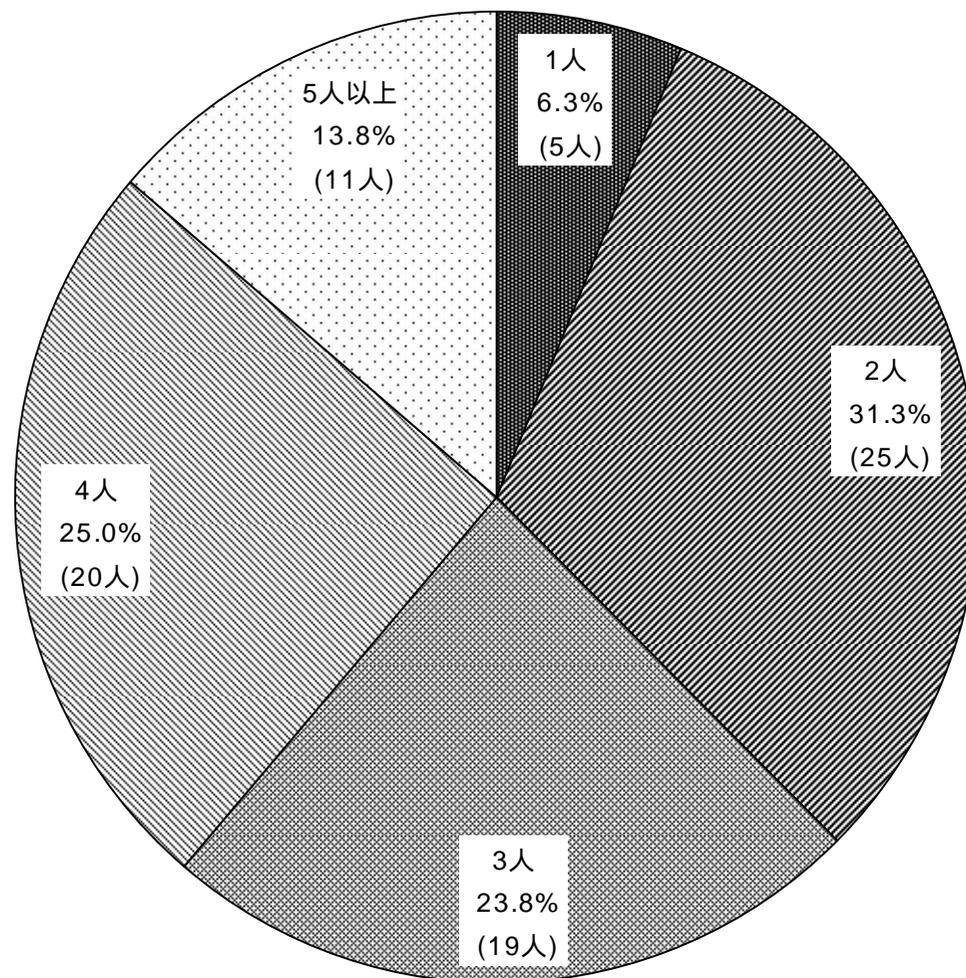
Q4 北戸田駅周辺を歩く際に頻度の高い過ごし方として、当てはまるものを全てお答えください。【いくつでも】
(n=79)



調査結果 | 社会実験に参加した人数 (Q5)

- 単独での参加者は6.3%に留まり、回答者の9割以上が複数人で参加している。

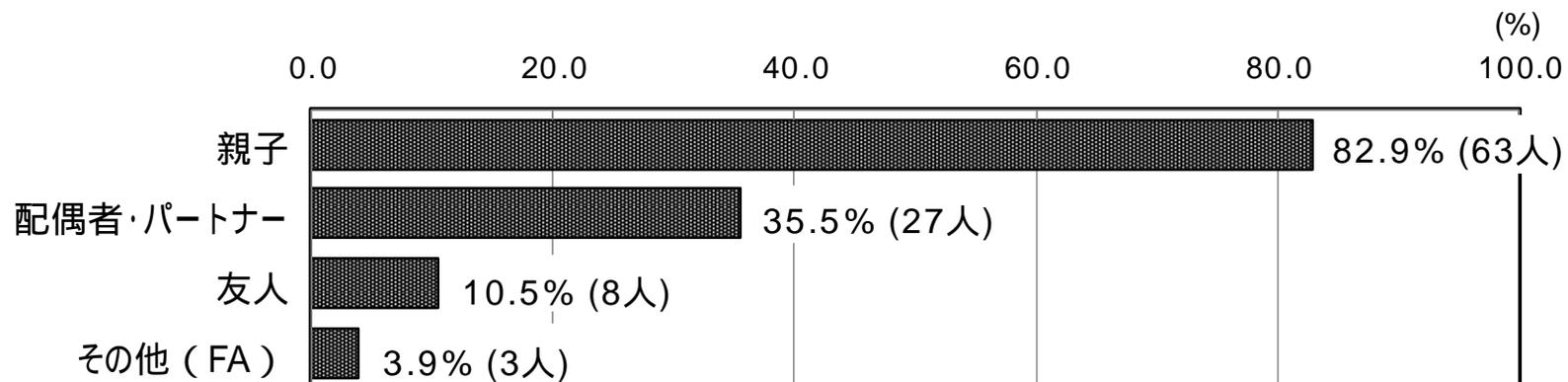
Q5 本社会実験に参加した方の人数をお答えください。
(n=80)



調査結果 | 同伴者との関係 (Q6)

- 親子での参加者が82.9%を占めている。

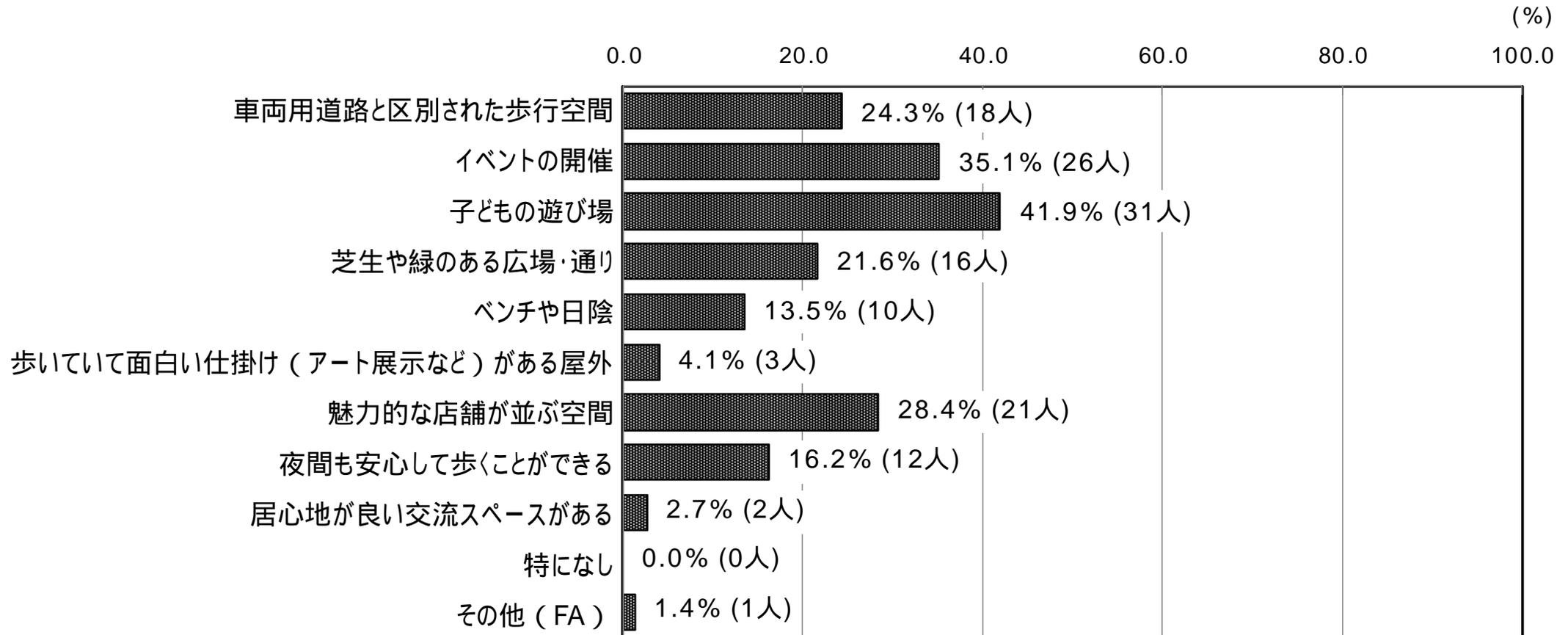
Q6 一緒に参加した方との関係性について、当てはまるものを全てお答えください。【いくつでも】
(n=76)



調査結果 | 歩きたくなる・滞在したくなると思う空間となるために必要な要素 (Q7)

- イベントの開催に3割近くが回答したが、子どもの遊び場や魅力的な店舗が並ぶ空間、車両用道路と区別された歩行空間など、空間を構成する要素に関する回答がいずれも2割以上である。

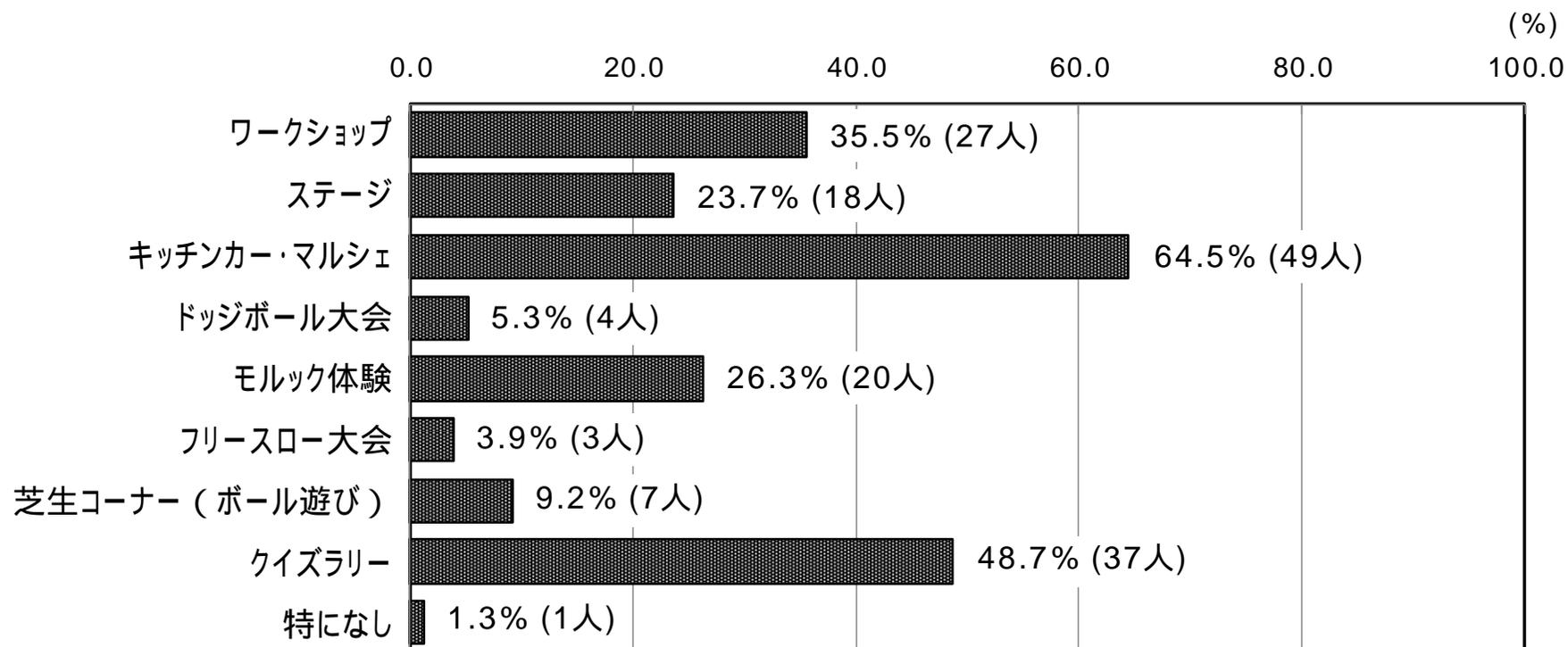
Q7 北戸田駅周辺を対象に、あなたにとって歩きたくなる・滞在したくなると思う空間となるために必要な要素として、当てはまるものを最大2つまでお答えください。【最大2つ】(n=74)



調査結果 | 本社会実験で歩いていて・参加して楽しかった空間 (Q8)

- キッチンカー・マルシェが64.5%と突出しており、クイズラリー、ワークショップが48.7%で続いている。

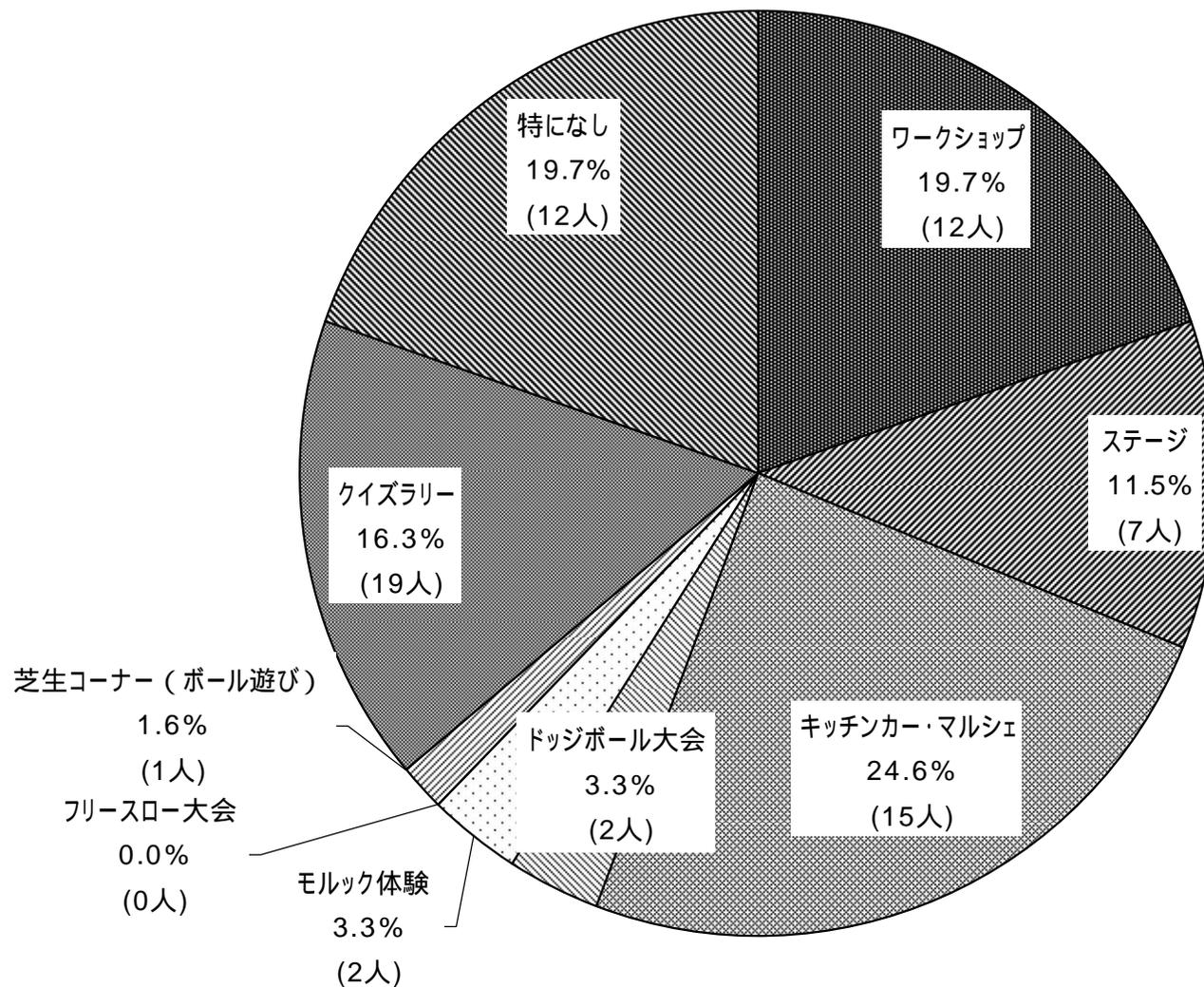
Q8 本社会実験で歩いていて・参加して楽しかった空間として、当てはまるコンテンツを全てお答えください。【いくつでも】
(n=76)



調査結果 | 主に参加したコンテンツ【朝方】(Q9 - 1)

- 朝方に主に参加したコンテンツは、キッチンカー・マルシェ、ワークショップ、クイズラリー、ステージの4項目に分散している。

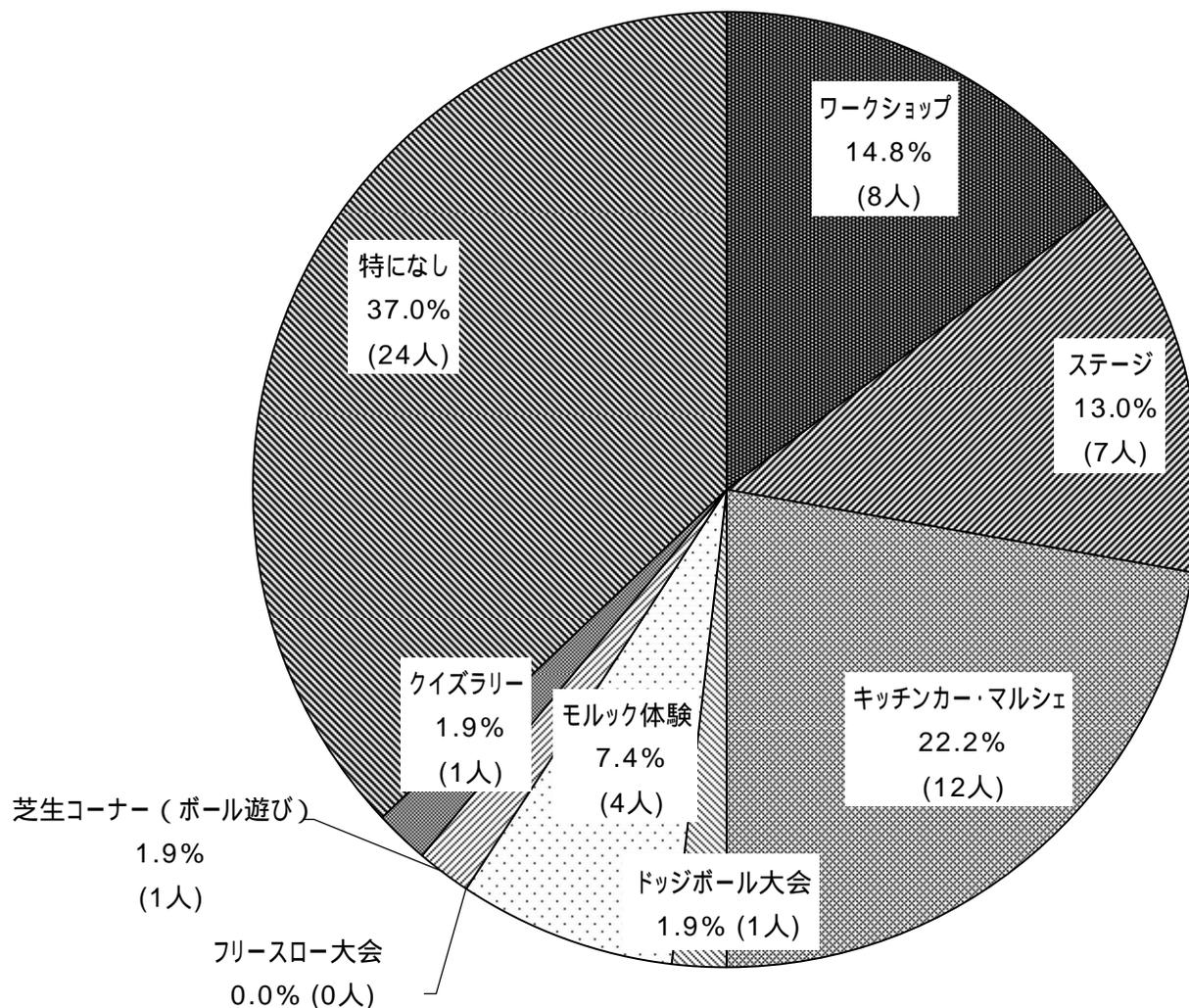
Q9 - 1 本社会実験で時間帯別（朝方、昼間、夕方）に、主にご参加された場所について当てはまるものをお答えください。【朝方】
(n=61)



調査結果 | 主に参加したコンテンツ【昼間】（Q9 - 2）

- 昼間に主に参加したコンテンツは、ワークショップ、ステージ、キッチンカー・マルシェの3項目が50%を占める。
- クイズラリーの割合が1.9%と小さい。

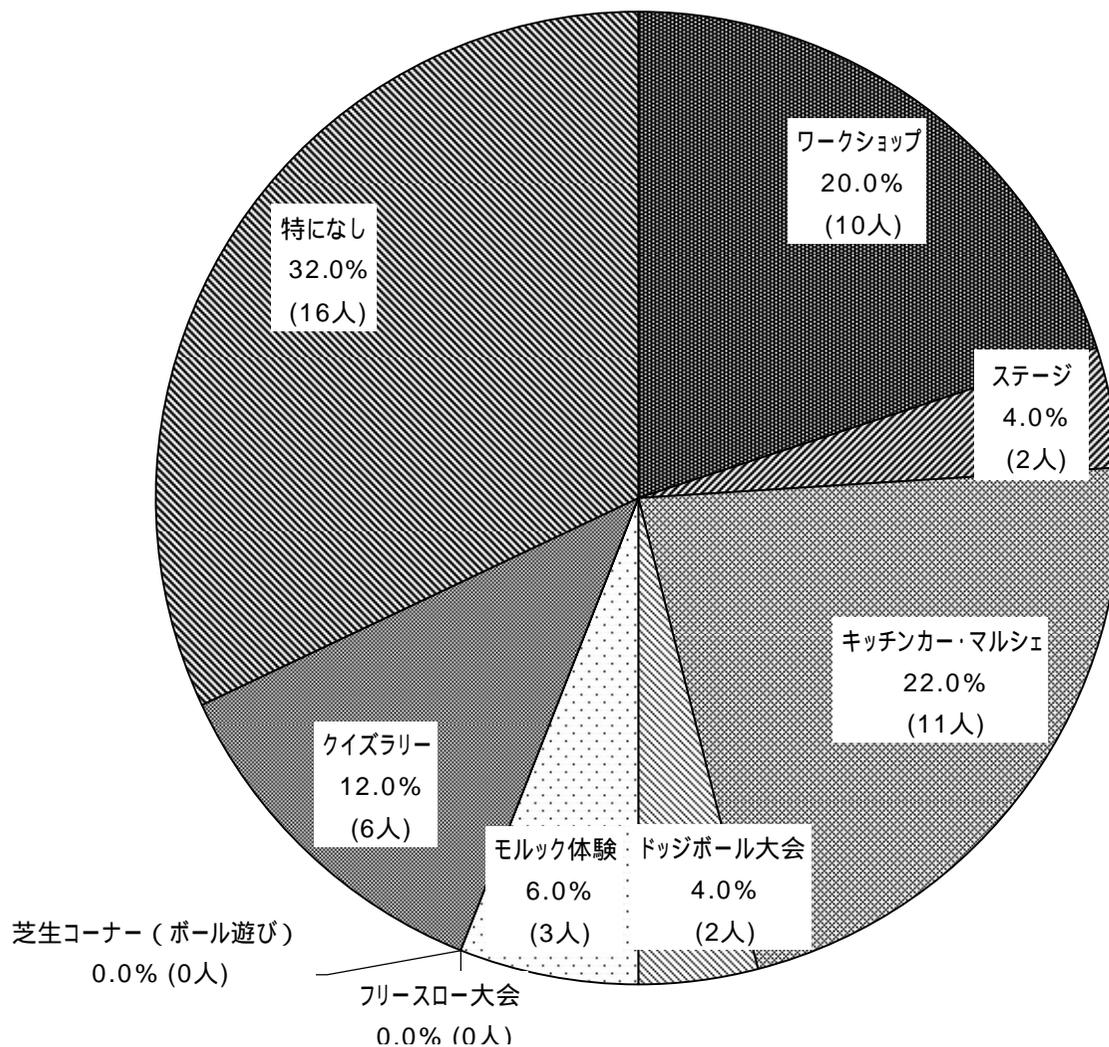
Q9 - 2 本社会実験で時間帯別（朝方、昼間、夕方）に、主にご参加された場所について当てはまるものをお答えください。【昼間】
（n=54）



調査結果 | 主に参加したコンテンツ【夕方】(Q9 - 3)

- 夕方に参加したコンテンツは、ワークショップやキッチンカー・マルシェがともに2割以上を占めている。

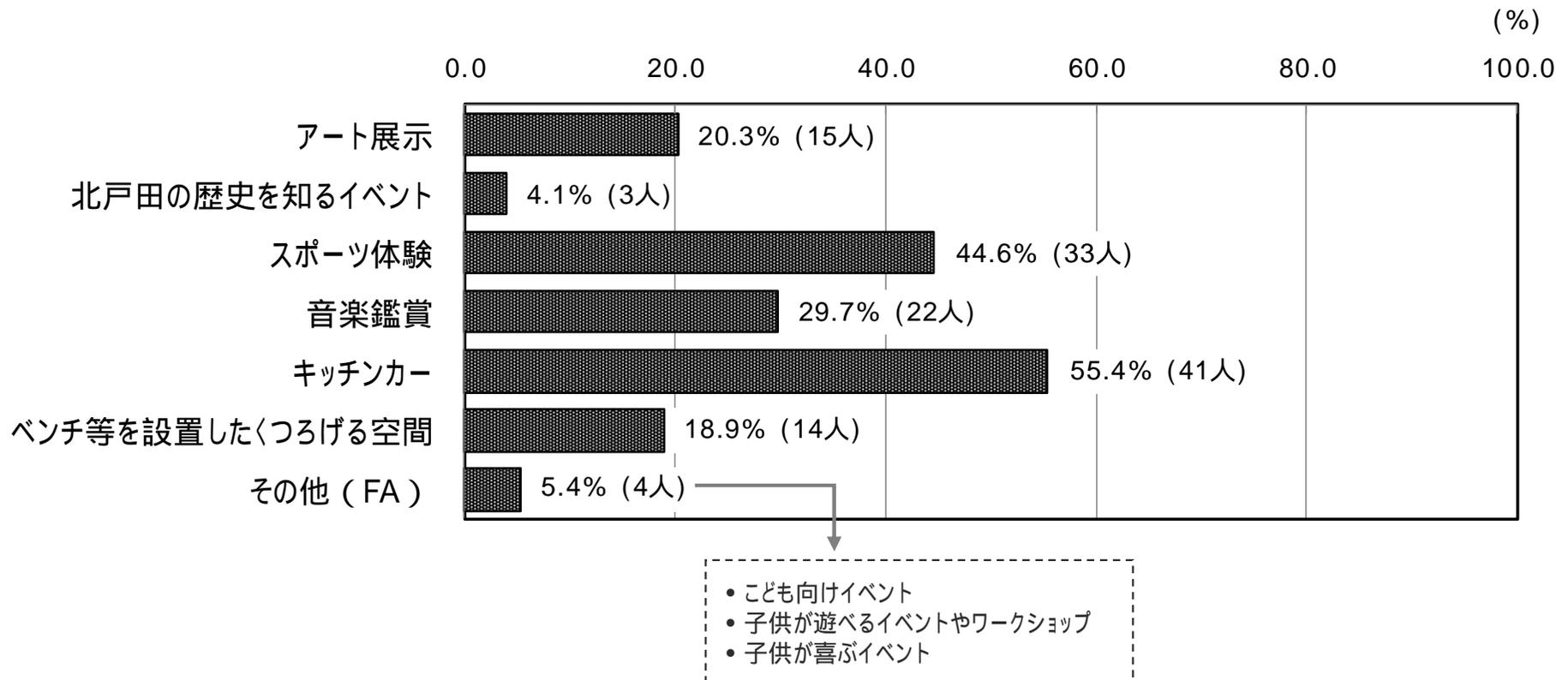
Q9 - 3 本社会実験で時間帯別（朝方、昼間、夕方）に、主に参加された場所について当てはまるものをお答えください。【夕方】
(n=50)



調査結果 | 行ってみたいくなる取組み・イベントとして、今後実施してほしいもの (Q10)

- キッチンカーやスポーツ体験、音楽鑑賞が上位を占めた一方で、「北戸田の歴史を知るイベント」は4%に留まった。

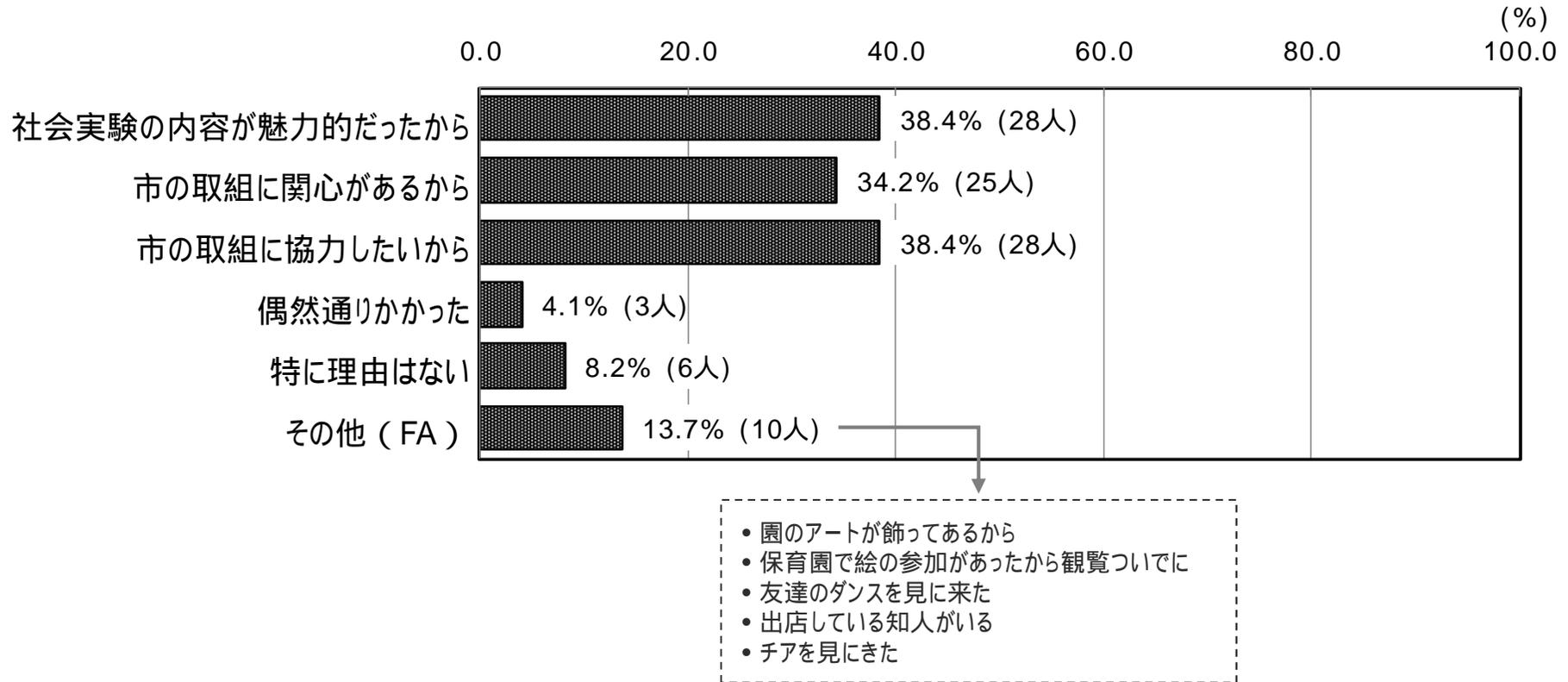
Q10 行ってみたいくなる取組み・イベントとして、今後実施してほしいものを最大2つまでお答えください。【最大2つ】
(n=74)



調査結果 | 社会実験への参加理由 (Q11)

- 「社会実験の内容に魅力的だったから」、「市の取り組みに関心があるから」、「市の取り組みに協力したいから」の3項目がほぼ同等の割合で並んだ。

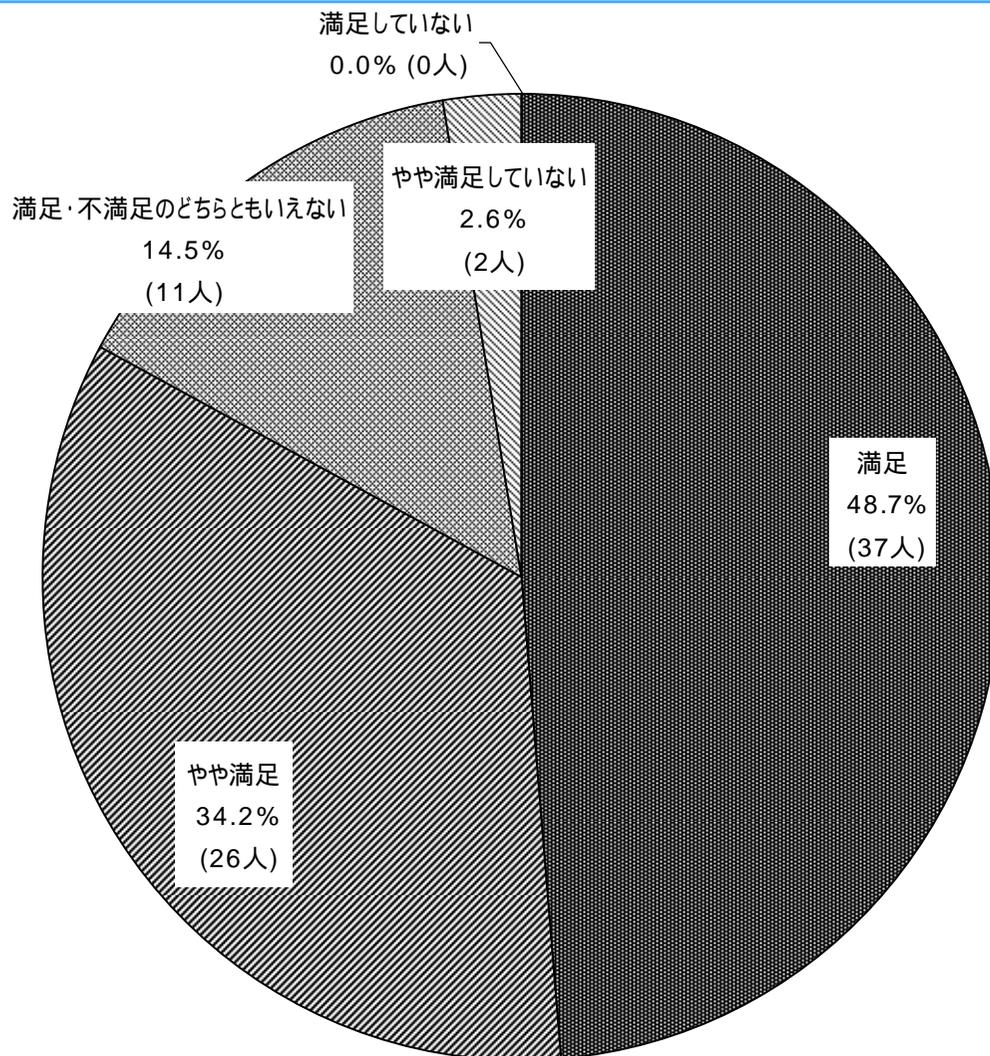
Q11 本社会実験への参加理由について、当てはまるものを全て教えてください。【いくつでも】
(n=73)



調査結果 | 社会実験の満足度 (Q12)

- 「満足」、「やや満足」と答えた方が8割以上を占めた。

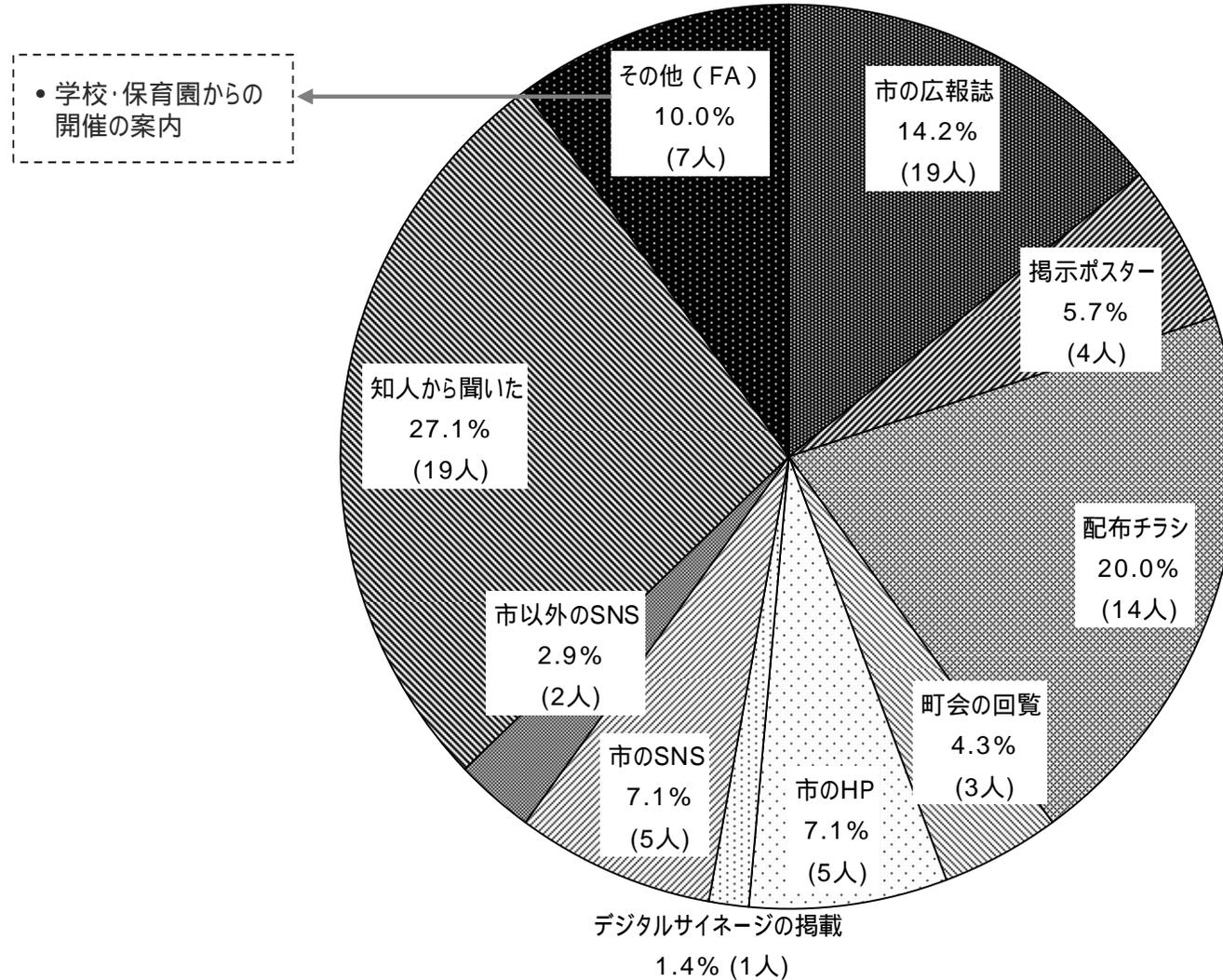
Q12 本社会実験の満足度を教えてください。
(n=76)



調査結果 | 社会実験を知ったきっかけ (Q13)

- 知人から聞いたが最も多い27.1%を占めた。
- 次に市の広報誌や掲示ポスター、配布チラシなど紙媒体の広報物をきっかけとする回答が多かった。

Q13 本社会実験を知ったきっかけを教えてください。
(n=70)



調査結果 | 自由記述欄 (Q14)

- 好意的な意見として、定期的なイベントの開催を要望する声が増えた。
- 不満としては、イベントの内容や目的が分かりづらいという意見が増えた。

Q14 その他、今回の社会実験及び北戸田駅周辺のウォークアブルなまちづくりに対する意見をお聞かせください。(n=26、抜粋)

社会実験に対する好意的な意見

- 北戸田駅前ですべて定期的にこのようなイベントを開催して欲しい。
- 子どもがいる家庭として、定期的に開催頂けるとありがたいです。戸田メディックスやヤクルトレビンスさん等と協業頂き、無料の体験がもっと充実すると嬉しいです。
- 楽しく参加しました。ウォークアブルなまちづくりのため、より広い範囲で音楽イベントをやっていたらぜひ行ってみたいと思いました。

社会実験の内容に対する不満

- 小さい子供が楽しむ面では良かったが、いまいち目的がよくわからないイベントだったと感じた。
- 芝生コーナー(ボール遊び)に気づかず?併設されている公園で過ごす時間が多くなってしまいました。同じ場所で開催される別イベントとの違いは伝わりづらかったように思います。
- ゲームがもっとたくさん行っていただろう。
- チラシを見るまで、イベント名を聞いただけでは、チャレンジって何をやるのだろう?とイメージが持てませんでした。名前だけでパッと分かるように、フェスなどの用語を入れるとイメージが伝わって参加者が増えるのではと思いました。

施設等の整備に関する要望

- 児童館ほしい・室内の遊び場・トイレ増やしてほしい。
- 北戸田駅の周辺は夜間暗いところが多いです。ちびっこ広場の方へ行くと暗く、防犯がしっかり出来ないのではと怖くなります。

アンケート集計結果一覧（出店者・出展者）

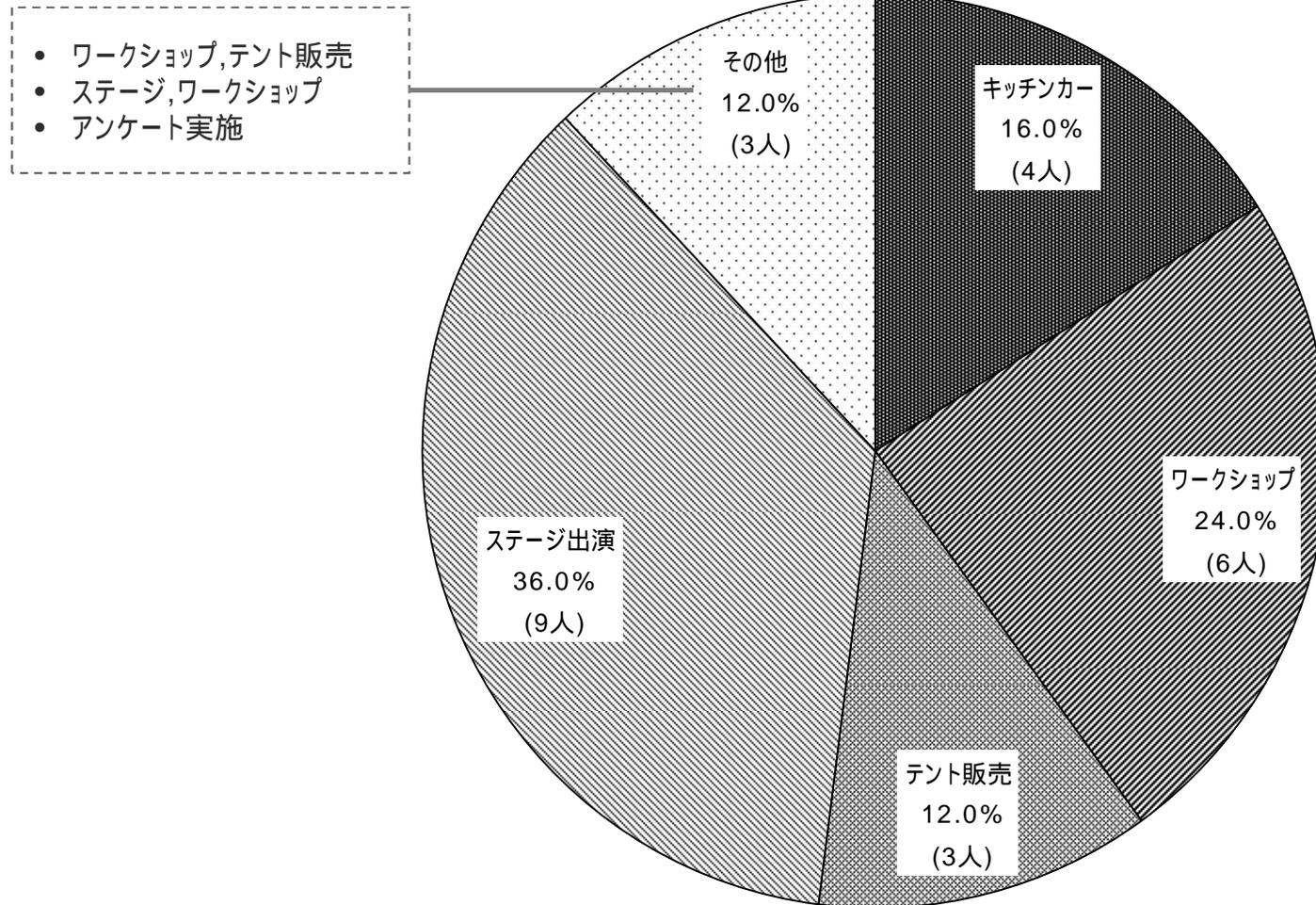
実施期間：2024/11/23（土）～2024/12/1（日）（googleフォーム回答）

回答者数：出店者・出展者（25団体）

調査結果 | 回答者の出店・出展内容

- 本社会実験への出店・出展内容について、ステージ出演者も最も割合が大きい（36％）。以降は下記回答者の分布に留意が必要。

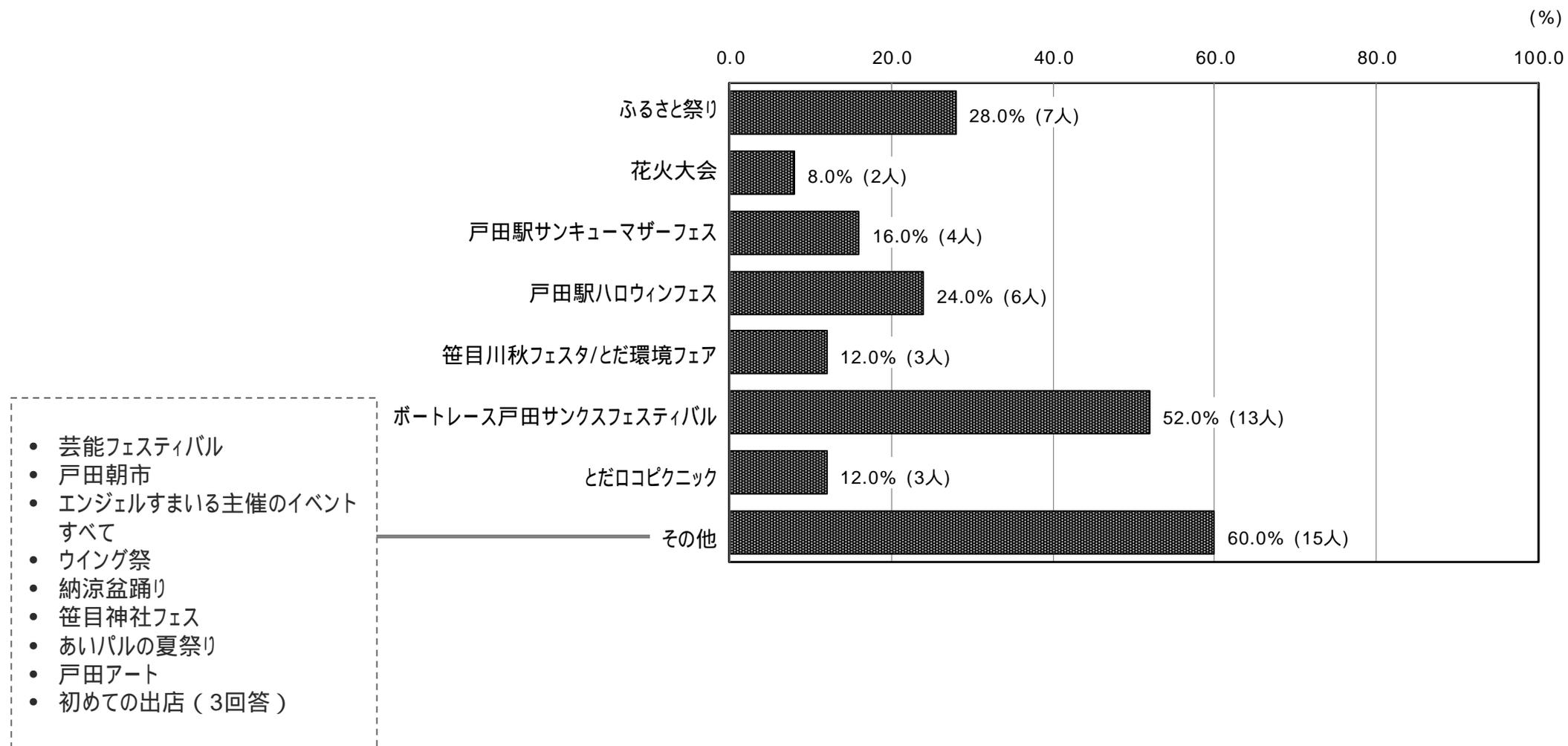
Q1.本社会実験への出店・出展内容として該当するものをお答えください。
(n=25)



調査結果 | 他イベントへの出店・出展

- 令和6年度中に市内の他イベントへの出店・出展について、88%の回答者が他イベントへの出店したことがある。
- その中で、最も割合が大きいのはボートレース戸田サックスフェスティバル（52%）である。

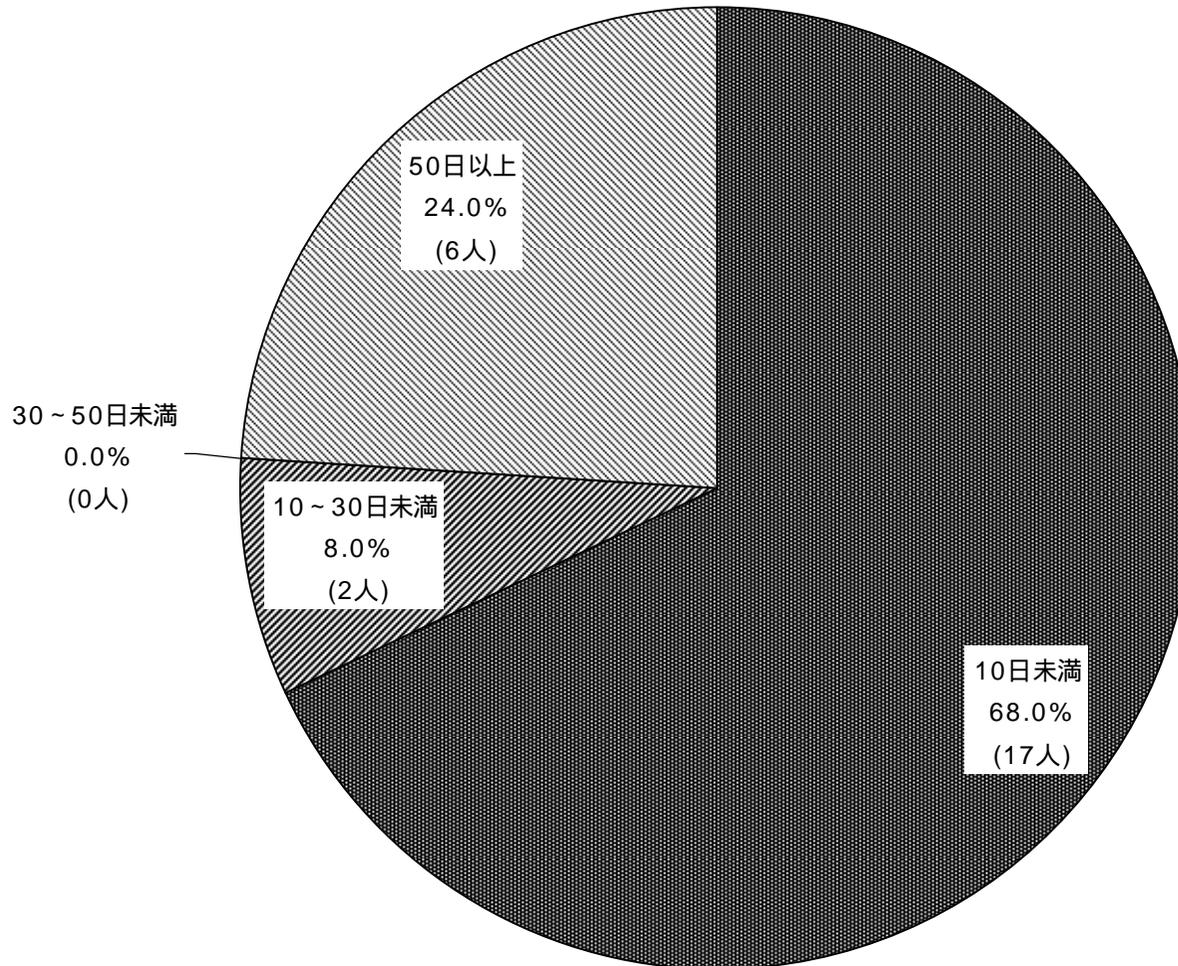
Q2. 令和6年度に実施されている市内のイベントにて、出店・出展したもの（今後開催予定のイベントはご意向を含む）を全てお答えください。【いくつでも】
（n=25）



調査結果 | 年間当たりの出店・出展者

- 年間あたりの出店・出展日数について、10日未満が最も割合が大きい（68%）。

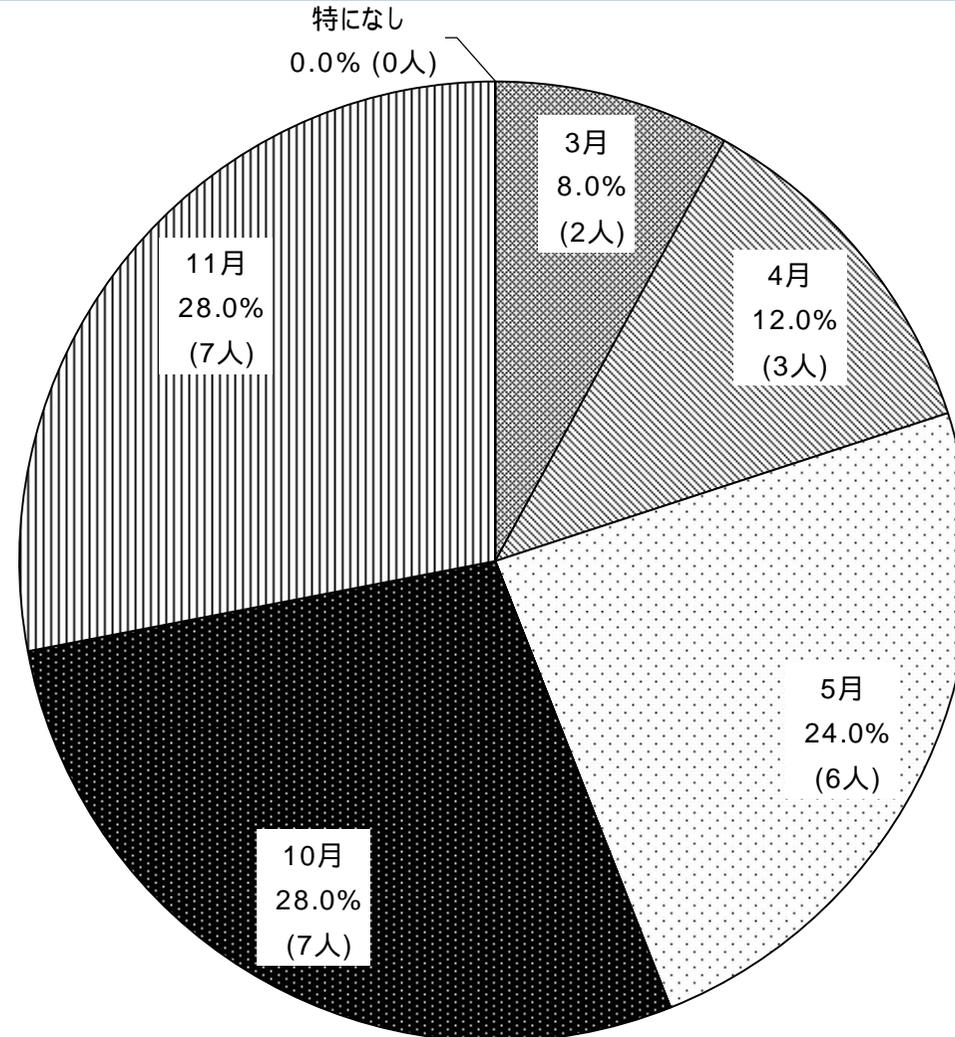
Q3.年間当たりの出店・出展日数をお答えください。
(n=25)



調査結果 | 望ましい開催時期

- 北戸田駅周辺で実施するウォークブルの取組み・イベントの望ましい開催時期について、秋ごろ（10月～11月）の割合が最も大きく（56%）、次いで春ごろ（3月～5月）の割合が大きい（44%）。

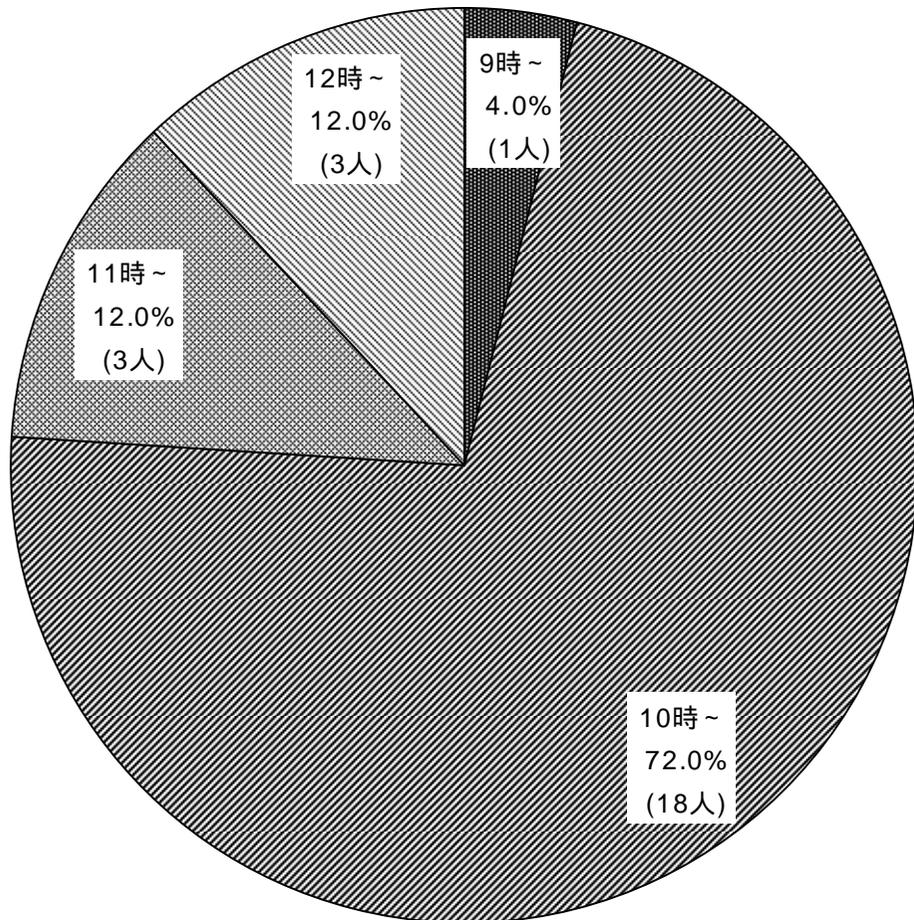
Q4.北戸田駅周辺で実施するウォークブルの取組み・イベントの開催時期として最も望ましい時期をお答えください。
(n=25)



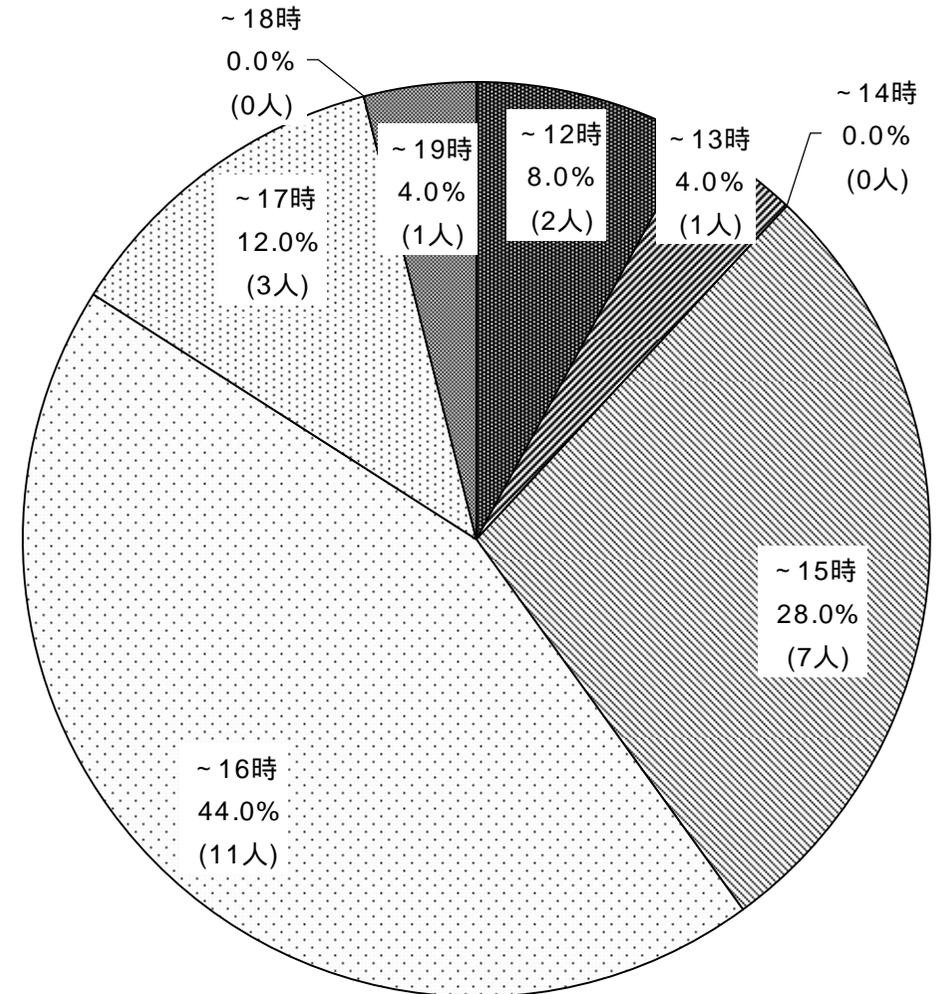
調査結果 | 望ましい時間帯

- 北戸田駅周辺で実施するウォークブルの取組み・イベントの望ましい開催時間について、開始時間は10時を希望する割合が最も大きく、終了時刻は16時を希望する割合が最も大きい。なお終了時刻は前後1時間を希望する意見も一定数存在する。

Q5-1.北戸田駅周辺で実施するウォークブルの取組み・イベントの開催時間（開始時間）として最も望ましい時間帯をお答えください。
(n=25)



Q5-2.北戸田駅周辺で実施するウォークブルの取組み・イベントの開催時間（終了時間）として最も望ましい時間帯をお答えください。
(n=25)



調査結果 | 望ましい開催時期、開催時間帯の理由

- 望ましい開催時期、開催時間帯の理由について、屋外で過ごしやすい季節・時間を望む意見や、参加者の多さから判断している意見もあった。

Q5-3.前問の望ましい開催時期、開催時間帯の理由があればお答えください。
(n=25)

気候に関する理由

- 暑くなく寒くない時期・季節。
- あたたかい時間
- 桜が咲く季節
- 時間については夏場だと昼間は暑すぎるので20時頃まで出来れば良い

参加者に係る理由

- 本日も15時を過ぎてもお客様がいた。
- 最後、駆け込みのお客様が多かった
- 準備片付けに適してる。またお客さんも出かけやすい時間帯
- 毎年開催するのであれば開催時期については3～11月のどこでも良い。ただ、11月の場合は、お客さんの滞在時間が暖かい時期と比べると短くなる傾向があるので、遅くまでやってもダラダラ続けただけなので夕暮れ時の16時頃まで。
- 子ども達が参加する時間

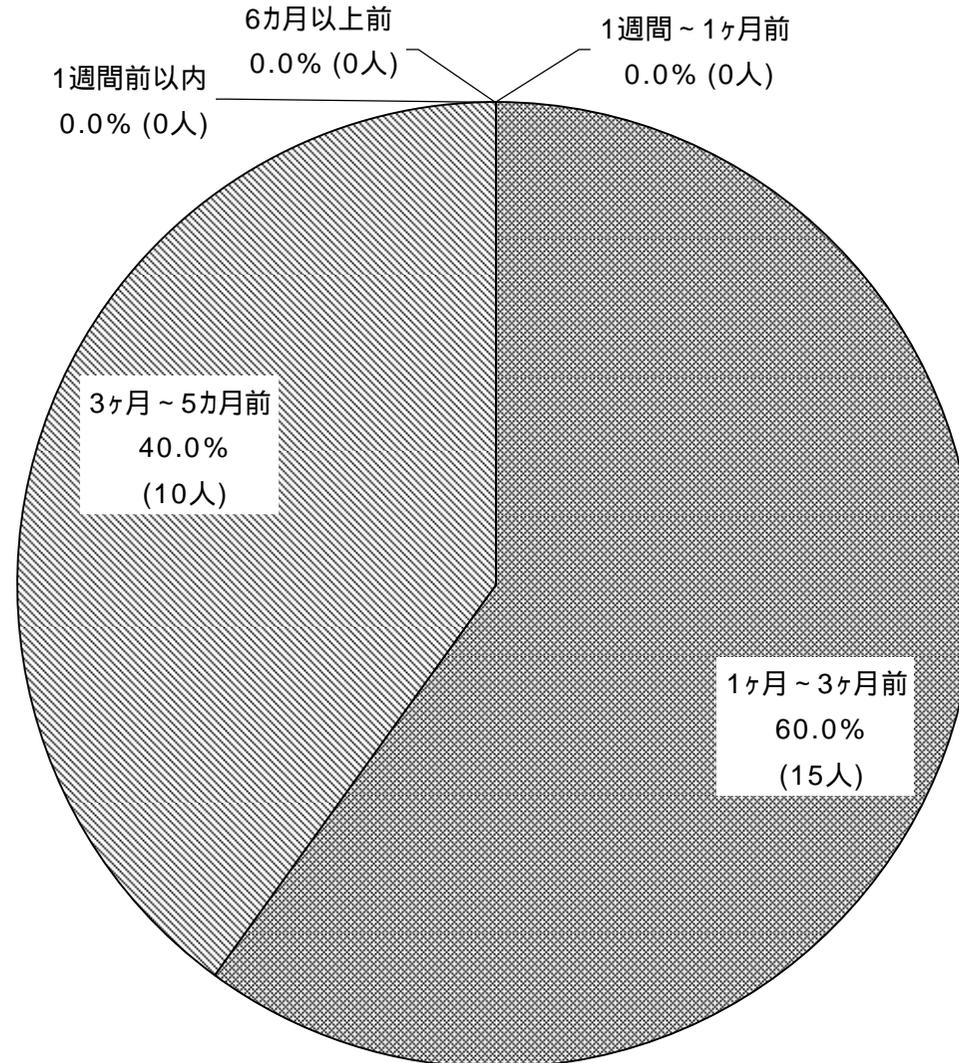
その他

- 11月下旬は思った以上に寒く、川からの風が強かった。11月～3月は寒く、7、8月は暑すぎ、6月9月は雨が多いので屋外イベントに適した時期は限られるように思いました。9月10月は商工祭などのイベントが毎週のように開催されているので、春先がよいと思いました。
- 秋は何かとイベントが多い季節ですが、運動会や発表会が終わってから参加することができる。また、ハロウィンもある為、ワークショップに参加する人数も増える。私はアクセサリー作家ですが、季節の変わり目に販売数が伸びる傾向にある

調査結果 | 取組・イベントの準備期間

- 取組・イベントの望ましい準備期間は約1ヶ月～3ヶ月前を望む意見の割合がもっと大きく、次いで3ヶ月～5ヶ月前を望む意見も多いことから、一定期間（3ヶ月程度以上）前から告知し準備を進めることが望ましい。

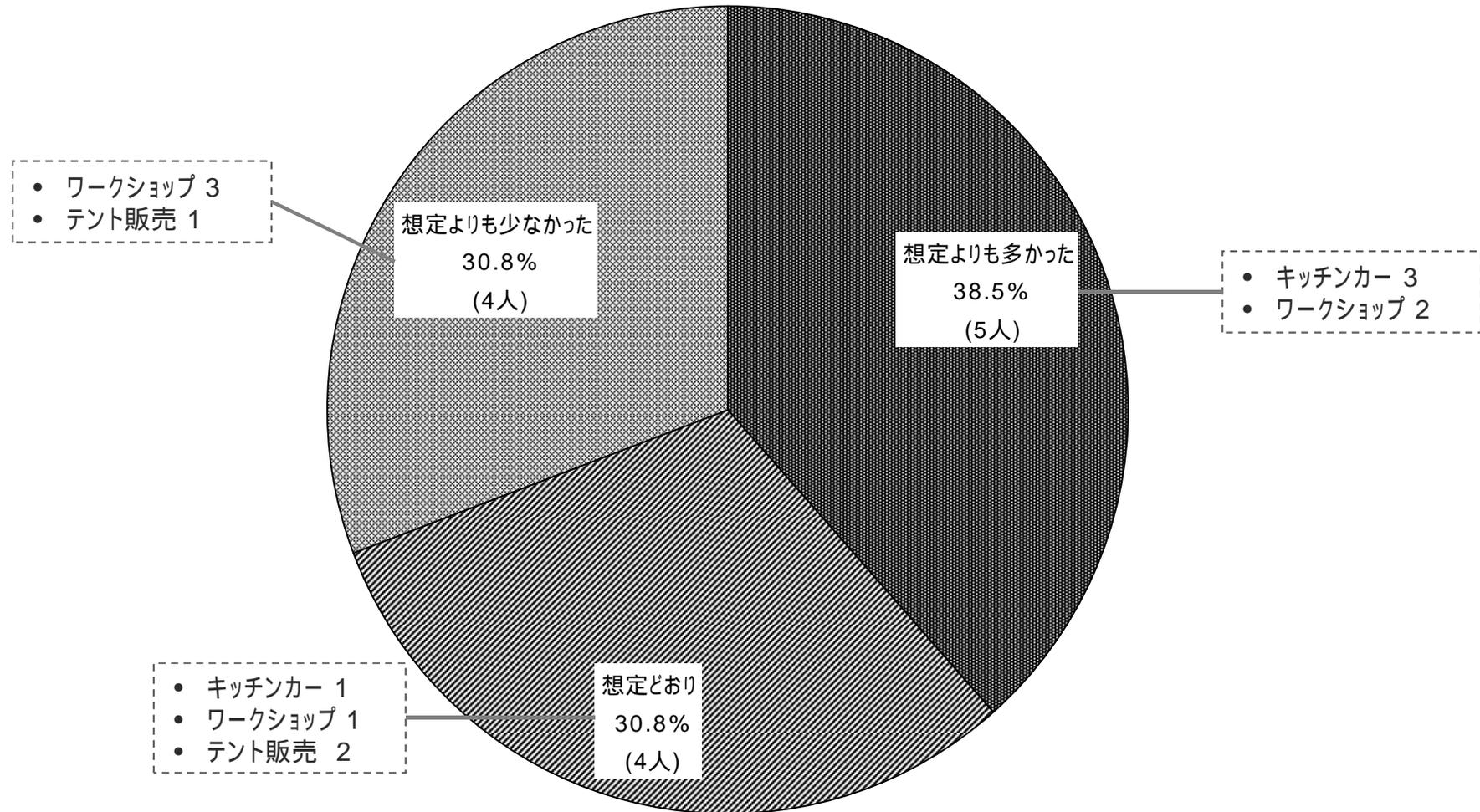
Q6. 出店者・出展者の視点から、このような取組・イベントの準備期間（出店等の協力依頼を開催時期の何か月前に行うか）として最も望ましい期間をお答えください。（n=25）



調査結果 | 本社会実験における収支

- 本社会実験における収支について、キッチンカーは想定どおり又は想定よりも多いのいずれかであり、ワークショップはばらつきがあり、テント販売は想定通り又は想定以下のいずれかであった。

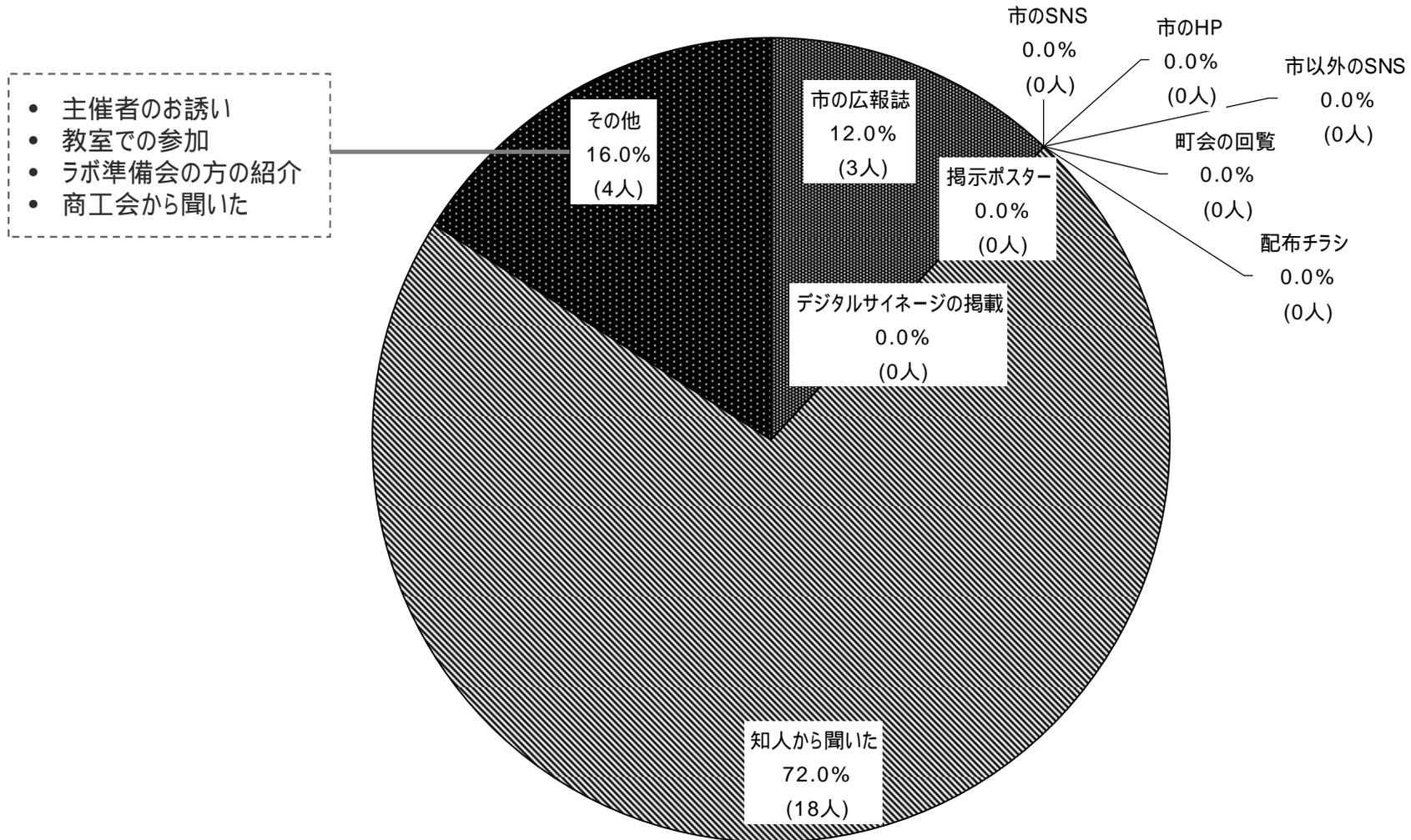
Q7.本社会実験における収支として、最も当てはまるものをお答えください。 キッチンカー、ワークショップ、テント販売のみに確認 (n=13)



調査結果 | 出店・協力経緯

- 本社会実験への出店・協力経緯について、知人から聞いたとする回答の割合が最も大きい（72%）。

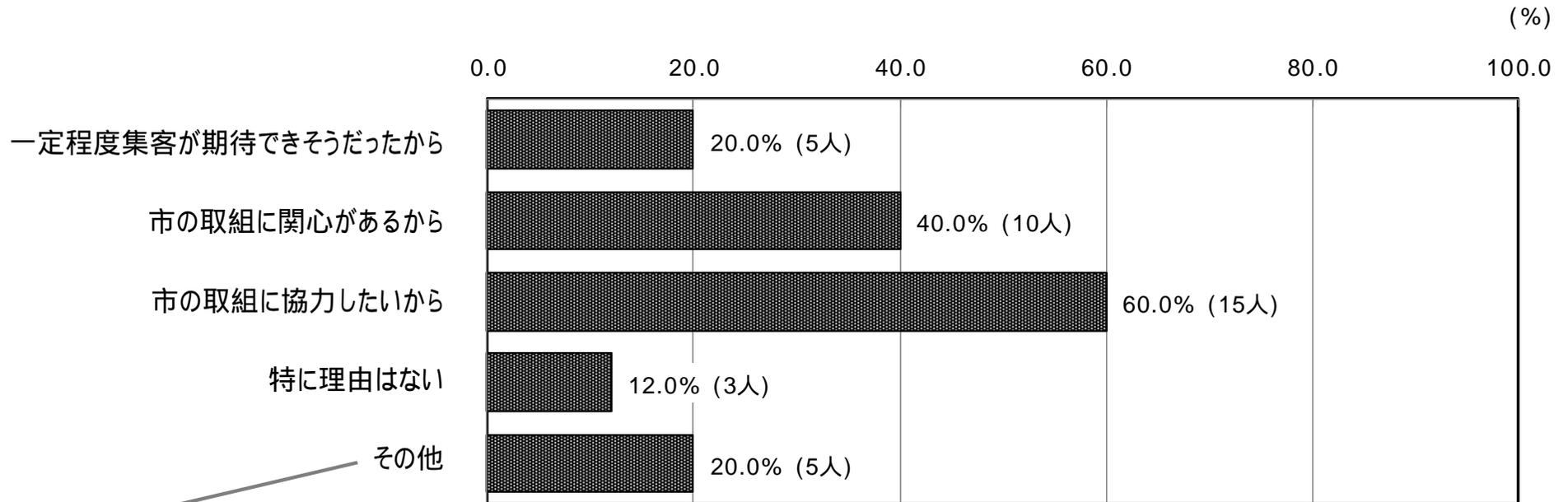
Q8.本社会実験への出店・協力いただいた経緯をお答えください。 複数ある場合には、本社会実験へのご協力にあたり最もきっかけとなったものをお答えください。
(n=25)



調査結果 | 出店・協力を決めた理由

- 本社会実験への出店・協力を決めた理由について、市の取り組みに協力したいとする回答の割合が最も大きい（60%）。

Q9.本社会実験への出店・協力を決めた理由として、当てはまるものを全てお答えください。【いくつでも】
(n=25)



- 和太鼓を披露する場を提供していただいたから
- 知人に協力を求められたから
- 戸田市を拠点に出店していきたい、したいと強く願っているため
- ワークショップ出店という形で社会参加のトライアルをしているため
- 近所で楽しそうだったから

調査結果 | 北戸田駅周辺にあったら良いと感じるもの

- 北戸田駅周辺にあったら良いと感じるものについて、イベント時の来場者への案内表示、出店・出展者向けの施設設備、にぎわい創出のための更なるコンテンツ（一部改善案）、その他防風林や高架下の照明などのイベント開催にあたって空間を使いやすくするための整備を求める意見があった。

Q10. 今回の出店・出展を通じて、北戸田駅周辺にあったら良いと感じるものについて、具体的に教えてください。

（例：イベント時に使用できる電源があると良い、日よけがあると良い等）

（n=25）

来場者向けの案内版

- 活動をアピールできる掲示板スペース、駅に大々的なイベント案内板、出店者がわかる看板
- 駅から笹目川沿いに誘導する案内

出店者・出展者向けの設備

- 日よけ、休憩できる室内の場所、雨風が防げる場所、風がなければテント
- 電源 発電機を使用すると音の問題と、子どもが遊び回っていて近付いてしまい排気の熱で火傷する可能性があるため
- 簡易トイレ
- イベント控室に机

にぎわい創出のコンテンツ

- 少し高さのあるステージ（客席が近すぎる）、イベントステージ
- アルコールの販売

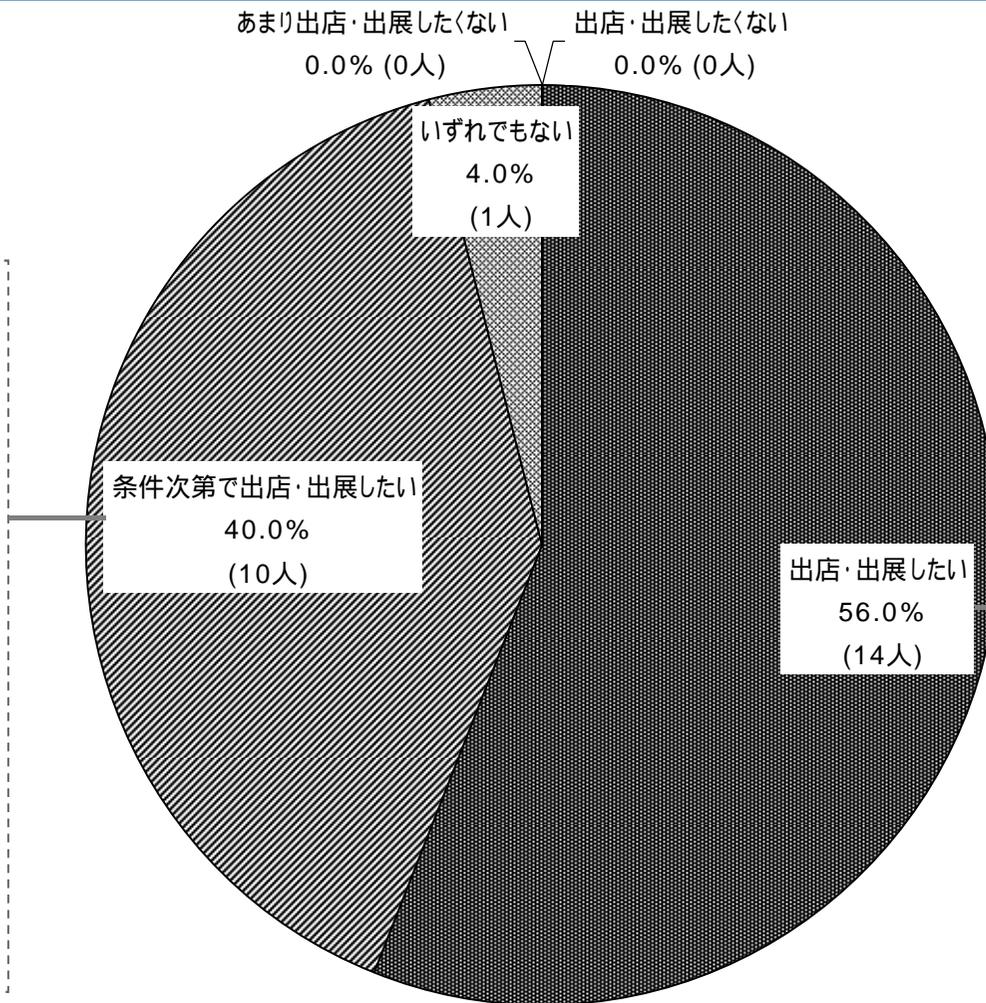
その他

- 防風林など日頃から歩行者や自転車の人を守れるような川沿いの風よけ
- 雨でも開催出来、埼京線の象徴である高架下を活用した汎用イベントスペースと不可欠な照明等の配備

調査結果 | 今後の出店・出展意欲

- 概ねの出店・出展者が次回以降も出店意欲を示しており（96％）、条件なしの回答者の理由はイベント自体への魅力や地域への愛着等の理由が挙げられる。また、条件付きの理由は開催時期（気候）や社会実験の趣旨やターゲットの明確化及び提示を求める意見があった。

Q11. 今後同様のウォークブルの取組みが開催される場合、また出店・出展したいかお答えください。
 Q12. 前問の出店・出展のご意向の理由をお答えください
 (n=25)



- とてもいい取り組みだと思う。
- たくさんひとが来ていたことがよかった。スタッフの方たちも、いい対応をしてくださったと思います。
- 今回はコンパネ2枚で踊りづらかったが、教室で参加しているので先生の意向で決まります。
- 色々な地域の方に楽しんでもらいたいから。
- 地域活性化に寄与したいため。
- 取り組みに協力したい。
- 主催者の目的やターゲット層がわからなかったため、そこが理解できたらまた出展してみたい。
- 季節や、開催時間によります。
- 寒すぎでステージは、過酷でした。

- スタッフのかたの案内がスムーズで、演奏スペースも問題なく楽しむことができました。和太鼓を披露できる場所が少ないので、喜んで出演します。
- 集客が想定以上だったため、完売となってしまったので、次回はしっかりと準備していきたい。
- 子ども達が自分達で開催するイベントを次回も行いたい。
- 今回、ワークショップ参加者の方々にとっても喜んで頂けたため。
- 北戸田駅周辺の楽しいイベントにまた参加できたらうれしいです。
- 戸田市の活性化に少しでも貢献したい為。
- 戸田市での出店を強く望んでいるため。また、現在戸田駅で定期的に出店はしているが一つ駅が違うだけでキッチンカーが戸田駅で出店していることを知らない方も多いため戸田駅で多くのキッチンカーが出店していることを認知してもらえたら嬉しい。現在、北戸田ではキッチンカーが出店できる場所がないので出店できるようにしていけたら良いなと思います。

調査結果 | ウォーカブルなまちづくりに対する意見

- ウォーカブルなまちづくりに対する意見について、改善点としては「広報・周知の強化」、「人流の誘導」に対する意見が挙げられた。

Q13.その他、今回の社会実験及び北戸田駅周辺のウォーカブルなまちづくりに対する意見をお聞かせください。
(n=22)

ポジティブなご意見

- 北戸田駅周辺の活性化の取り組みとしては素晴らしいと思いました。ウォーキングに参加した方々は楽しかった！とお話されてました。
- 住んでる人以外、利用が少ない駅なのでイベントなどで盛り上げて頂けるのはとても嬉しいです一般の方でも気軽に店が出来るフリーマーケットなども楽しいかな？と思いましたこれからも頑張ってください
- 今回はお疲れ様でした！そしてありがとうございました。北戸田駅周辺はこれから発展する可能性がたくさんある印象で、私自身も期待しています。これからも何かありましたら、協力させていただけたら幸いです。
- 初めて北戸田に行きましたが、川沿いの歩道にキッチンカーなどが定期的に出ていると楽しくて良いと思います。
- とても良いイベントだったと強く感じます。今後とも継続して開催していただけたらとても嬉しく思います。
- 本日もたくさんの方が来てくれました。イベントを知らないで通りがかりの方も

改善点・ご要望

(広報・周知の強化)

- 前宣伝が少なかったように感じました。会場は駅前では無いので休みの日の朝は人通りがないように感じました。イベントの内容は良かったので事前の広報が大事と感じました
- 北戸田以外にも周知がほしい
- イベント情報の発信、共有の場が欲しいです
- 今回、強風でテントを立てることができなかった為、北戸田駅方面の出展ブースが全て飲食スペースと勘違いしている方もいて奥のブースまで来ない人が多かった。イベントを周知させるために近隣の飲食店の出店や告知、また、児童館などでの告知をお願いしたい。

(人流の誘導)

- 今回の人の流れは、ボール公園から笹目川ステージに流れる方向が多いようにみうけられた。次回は駅周辺から笹目川に人が流れるように周辺整備を行ってほしい。
- ウォーカブルという言葉に馴染みがなく、また社会実験という言葉イベントタイトルにつけるのは、かたいイメージになる。また、北戸田駅から見える所にブースがほとんどなく、駅を降りた人が「なんかやってる、行ってみたい！」と思わせる導線になっていなかったのが残念テーブルとイスを借りられたのは良かった
- 北戸田駅周辺は入り組んでいて、トラック等の車も多く、歩行者や自転車では利用しづらいイメージがありました。今回のような取り組みを通じて、歩きやすい街が育っていくとよいと思いました。市内の他の地域でもやってほしいです。

(その他)

- キッチンカーなどもう少し近くにあるといいと思う
- 今回、無償ワークショップとステージ出演だったが、事前にエントリー費が別に掛かる旨の説明が無かったことと、ステージエントリー費の領収書が発行されなかった点は不満。また、販売目的とボランティアのワークショップのエントリー費は分けた方がいいと考えます。

アンケート集計結果一覧 (まちづくりラボ準備会メンバー)

実施期間：2024/11/23(土)～2024/12/20(金) (googleフォーム回答)

回答者数：まちづくりラボ準備会メンバー(16人)

アンケート調査の実施概要

社会実験アンケート調査	
調査目的	<p>✓ 次年度以降取組みにおける、 にぎわいの更なる創出のヒント、 参加者目線での改善点の発見を主な目的とする。</p> <p>✓ 特に「 更なるにぎわい創出のヒント」について、参加経緯等を本調査において把握し、より効果的な広報活動（量の観点）やウォークابلに資する魅力的なコンテンツや時期等の見極め（質の観点）を行う。</p>
調査対象	<ul style="list-style-type: none">まちづくりラボ準備会メンバー
調査方法	Googleフォーム
調査期間	2024/11/23（土）～2024/12/20（金）
回収数 （有効サンプルサイズ）	まちづくりラボ準備会メンバー（16人）

主な調査項目

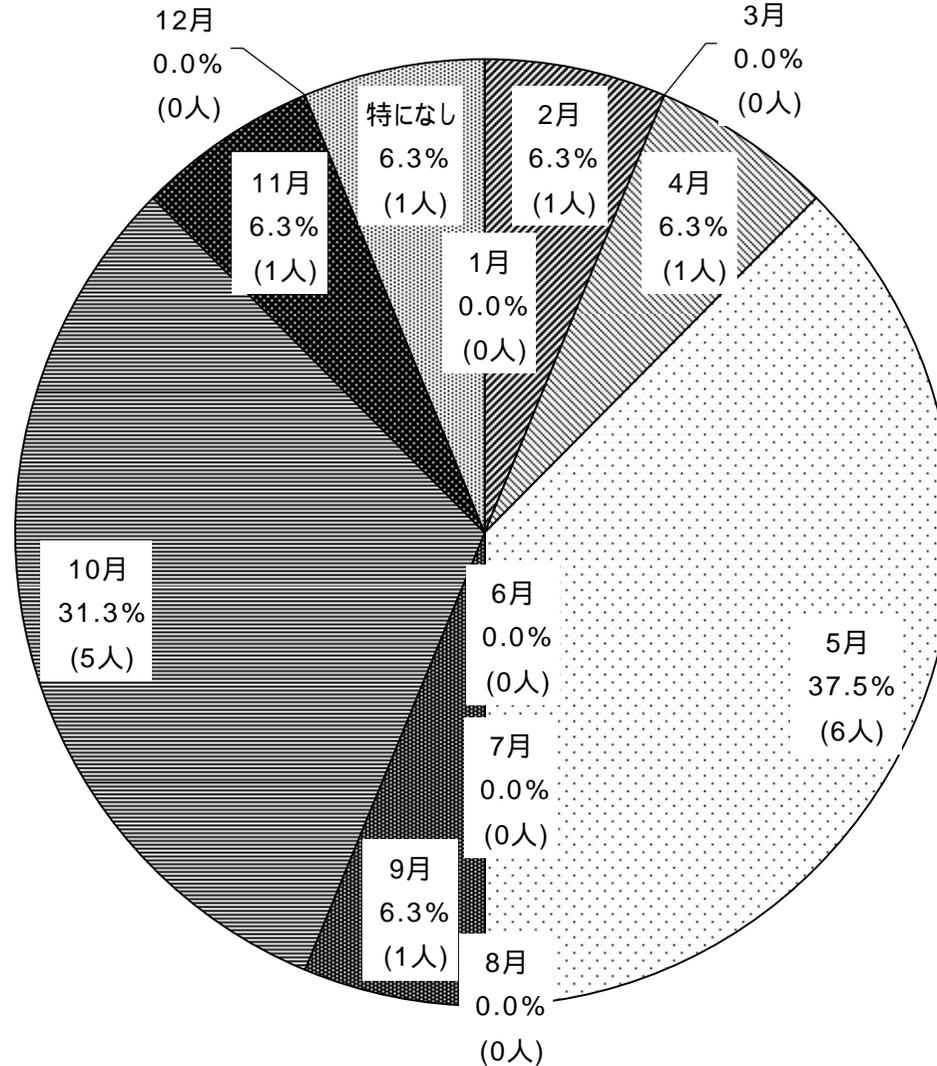
社会実験の実施に適した時期、時間と改善点の把握

- 望ましい開催時期（Q1）
- 望ましい開催時間（Q2-1,2,3）
- 本社会実験の良かった点・改善点（Q3）
- 北戸田駅周辺を歩きたくなる・滞在したくなるようなまちにするためにあったら良いもの、改善点（Q4-1,2）
- 本社会実験及び北戸田駅周辺のウォークブルなまちづくりに対する意見（Q5）

調査結果 | 望ましい開催時期

- 望ましい開催時期として、5月と10月にそれぞれ3割以上の回答が集まった。
- 1月、3月、6月-8月、12月は、いずれも回答数が0であった。

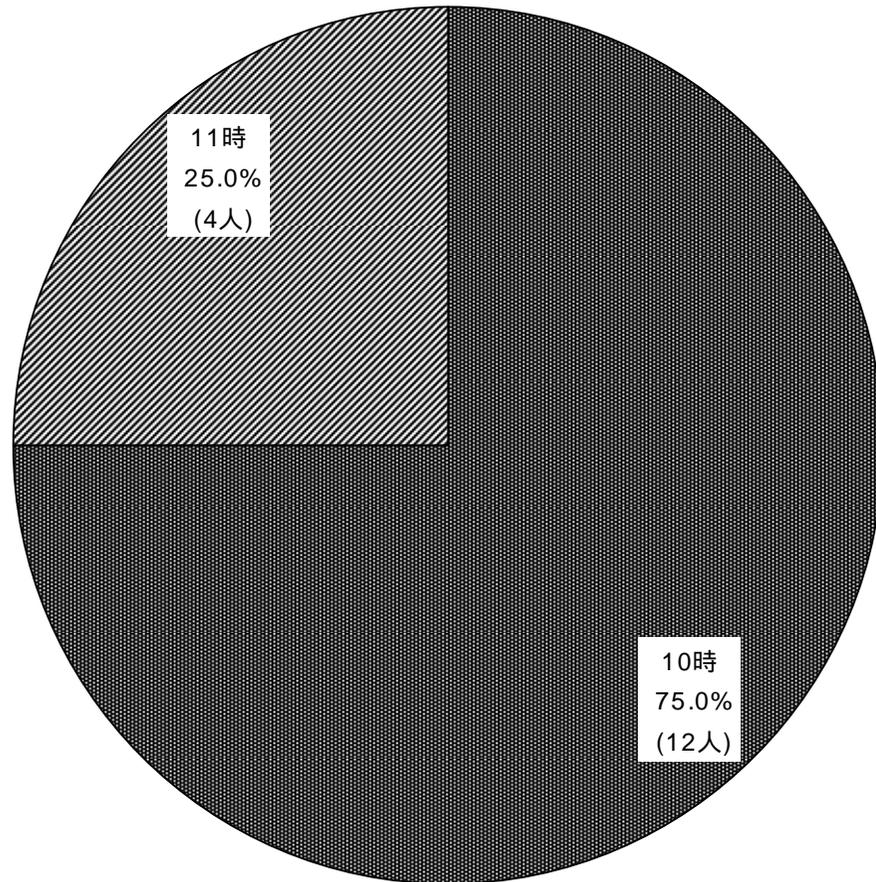
Q1.北戸田駅周辺で実施するウォークブルの取組み・イベントの開催時期として最も望ましい時期をお答えください。
(n=16)



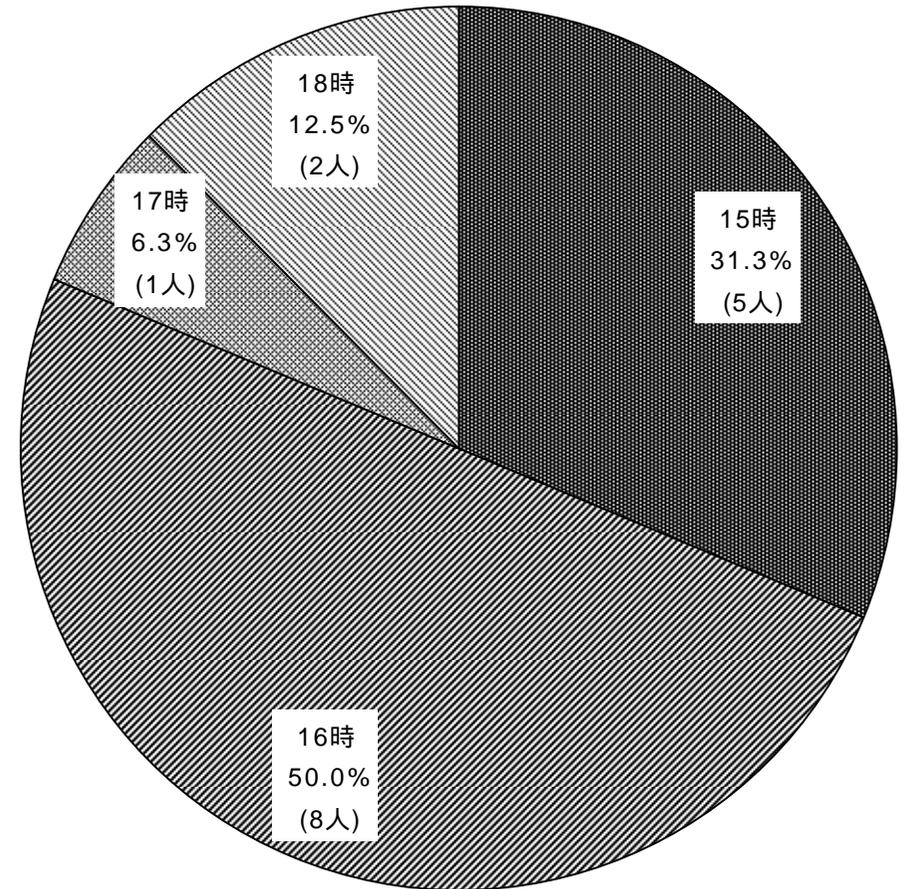
調査結果 | 望ましい開催時間

- 望ましい開始時刻は、10時と11時の2つのみという結果となった。
- 望ましい終了時刻は、16時に半数が集まり、15時を合わせて8割を超える結果となった。

Q2-1,2.北戸田駅周辺で実施するウォークブルの取組み・イベントの開催時間として最も望ましい時間帯をお答えください。 0～24時の時間をご記入ください。
(n=16)



開始時刻



終了時刻

調査結果 | 望ましい開催時期、開催時間帯の理由

- 気候に関する理由としては、暑さや寒さの対策の必要性が低く、出歩きやすい時期を求める声が多かった。
- その他として、日照時間の長さを考慮した開催を求める声が複数上がった。

Q2-3.前問の望ましい開催時期、開催時間帯の理由があればお答えください。
(n=14)

気候に関する理由

- 真夏は避ける。カキ氷や音楽ライブ、ビールなど片手に楽しく歩き回ることが出来るため。9月なら18時頃まででも集客できる。あたたかい時間
- 出歩くのにちょうどよい季節
- お花見と重なり歩くのも楽しい季節
- 台風や雨の少ない季節で、屋外でも暑さ寒さ対策が必要なさそうな時期が負担が少ないかと思いました。

参加者に係る理由

- 子供も参加しやすい時間帯のため。
- 午前中から始めることで高齢者の方からご家族の方等の様々な年代の方に参加いただけるため。

その他

- 冬場であれば、日もくれるのが早く、今回開催した場所も、ダンス等が気になるので、日が落ちないうちに終わらずと良いのかなと思いました。
- 準備に時間を要する為、また片付け時間を考えると日が短い時期より夏前くらいの5月または10月が良いのでは、なるべく長く楽しんで欲しいのと様々な年齢層の方に来て欲しいので、16時くらいまでなら仕事終わって立ち寄りやすくなり幅が広がるかと思います。
- 笹目川フェスタと時期をずらす為

調査結果 | 社会実験を実施して良かった点、改善点

- 良かった点として、住民間のつながりを創出できたことや当日の運営を滞りなく行えたことが上がった。
- 改善点として、新規の協力者の獲得、運営側の負担の分担、運営者間の意思疎通に関するものが上がった。

Q3.社会実験の企画から運営までを実施いただいた中で感じた、本社会実験の良かった点または、改善点として、お気づきの点をお答えください。
(n=16)

良かった点

- 社会実験により、街なかを創出出来ることが分かりました。個人的にも住んでいる街での人とのつながりが持てて良かったです。
- 地点と地点を繋ぐための企画を行えたこと、さらに当日の運営も滞りなく行えたことが良かったと感じた。

改善点

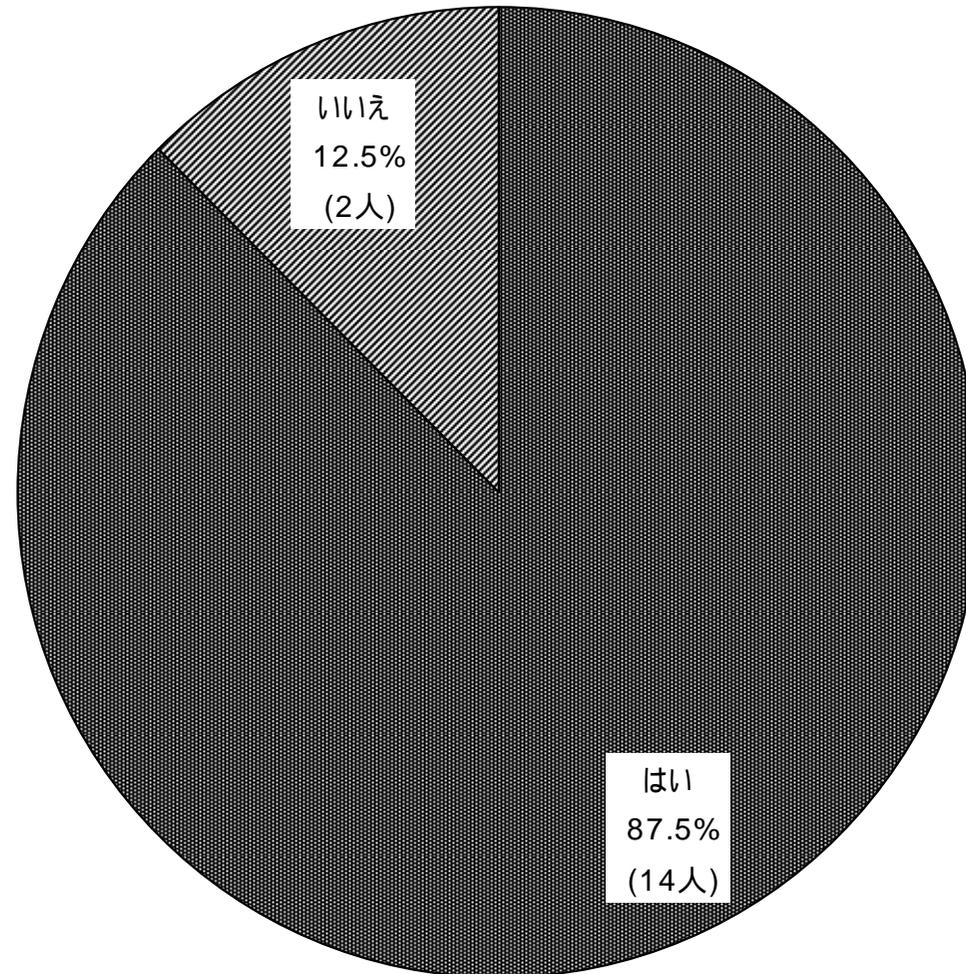
- 今回の社会実験イベントに携わり、市民主体を掲げている一方、市役所職員さんの負担が大きい感じました。継続性を高めるためには、市民や団体が「またやりたい！」と思える仕組みづくりが重要と思います。
- 社会実験以前より戸田市に携わる方が過半数を占めていて新規の協力者の賛同を得ることができなかった。戸田市のイベントに今まで参加していた方からのお声掛けでステージや出店者を募った事でこれまでのイベントと同じ出演者出店者、北戸田ならではの新しいチャレンジをあまり感じられなかった。
- もう少し運営者の意思疎通の為に集合会議とは別にオンラインでも説明や話し合いをしたらどうでしょう。

調査結果 | 要望や改善点の有無

- 9割近いメンバーが要望や改善点があると回答した。

Q4-1. 今回の企画から運営までを通じて、北戸田駅周辺を歩きたくなる・滞在したくなるようなまちにするために、「こんなものがあっていいな」、「ここを改善したほうがいいな」と感じることはありましたか。

(n=16)



調査結果 | 要望や改善点の具体的な内容

- あったら良いものとして、ベンチなどに加え、ベビーカー等の利用者のために段差を解消する意見が複数上がった。
- 改善点として、車両通行止めの徹底や周知不足、アンケートの配布方法などの意見が上がった。

Q4-2. あったら良いと感じたものや改善した方がいい点について、具体的に教えてください。
(n=14)

あったら良いもの

- 場所を活かし、ゆっくり滞在できるベンチ。食事できる場所など。通常時は、夜は怖いイメージが強いので、ライトの設置
- ベビーカーや車いすの方の段差を改善できるような、簡易的スロープがあったら良いのかなと。
- 歩道と道路の縁石が、高い場所が続き、ベビーカーを持ち上げる姿を何回も見た。

改善点

- 重要な車道通行禁止箇所に対する通行しないように呼びかける努力。1台高齢ドライバーを通し、道路にいた子どもと接触するような場面があった。その車は通行禁止エリアを通過しただけなので、市役所スタッフ警備がきちんとドライバーへの説明と通行禁止ができていなかったことが原因。
- あくまで社会実験としてアンケートの参加していただくため、アンケートもスタンプラリーの台紙やチラシと一緒に渡すなど効率的に取り組めると良いと感じた。

調査結果 | 自由記述

- 改善点として、安全面に関するものや運営側の役割分担等に関する意見が集まった。
- その他として、事業を進めるにあたり、より広範に意見を取り込むことを求める声が複数上がった。

Q5.その他、今回の社会実験及び北戸田駅周辺のウォークアブルなまちづくりに対する意見をお聞かせください。
(n=15)

社会実験への好意的な意見

- 今までやったことがない経験ができて良かった。また、市内の方々と交流でき、知り合いが増えてよかった。
- 今から20～30年前の北戸田駅周辺は暗いイメージで今回のような催しが出来るとは想像もしていませんでした。小学生の子を持つ今、子供だけで北戸田駅周辺に遊びに行けるような安心安全な地域になる事を望んでいます。このような活動に関わる事が出来て嬉しいです。

社会実験の改善点

- 大学生の方におねがいできる事を前に準備出来たらよかった。
- キッチンカーのゴミが一杯になっている時間帯があって、来訪して下さった方がゴミが捨てれない人も見ました。ゴミ箱の取り換えに目を配る必要があると感じました。
- 川沿いで子供たちが自由に遊んでいて、事故につながる可能性があると感じました。壁をよじ登ったり、草むらに入って遊ぶ光景はいつもの子供たちの行動ですが、イベントの際は壁を登るなどリスクがある行為はある程度参加者にも控えていただく必要があると思います。来訪者から直接ご指摘もいただきました。

その他

- 事業者ではなく実際に住んでいる方の意見を聞いてまちづくりをすすめてほしいです
- 住人が求めているのは何か？それはまちづくりラボ準備会だけで話し合うだけでは方向性が違うと思います